

豊橋市自然史博物館年報

第 31 号

平成 30 年度

ANNUAL REPORT OF THE
TOYOHASHI MUSEUM OF NATURAL HISTORY

No. 31
2018-2019

豊橋市自然史博物館

Toyohashi Museum of Natural History
Toyohashi 441-3147, Japan

は　じ　め　に

昭和 63 年 5 月 1 日に開館した豊橋市自然史博物館は、昨年度開館 30 周年の節目の年を迎え、例年にも増して、質、量ともに充実した各種事業を実施することができました。

開館 30 周年記念事業として、5 月 2 日に地元の二川小学校、二川南小学校の 6 年生や博物館ボランティアなど博物館関係者約 300 名が出席し記念式典を開催しました。また、式典にあわせて開館 30 周年記念企画展「自然史博物館 30 年の歩み」(4/28～5/27)を開催したほか、「開館 30 周年記念年間優待券」の販売を開始しました。

夏には、開館 30 周年記念企画展「博物館のウラワザ」(7/6～9/30)と第 33 回特別企画展「体感！恐竜ワールド」(7/13～9/2)の 2 つのプレミアムイベントを開催しました。「博物館のウラワザ」では、博物館ボランティアの皆さんの協力を得ながら、普段は見ることのできないバックヤードでの作業の様子などを展示しました。「体感！恐竜ワールド」では、動く恐竜ロボット 10 体を化石標本や復元画などと関連づけて展示し、他の博物館では見られない、科学教育とアミューズメント性を融合させた企画展を実現しました。観覧者自ら操縦できる恐竜ロボットは、特に子どもたちに好評で、会期中(46 日間)に 21,305 人の方が来場しました。また、2 つのプレミアムイベントの関連事業として、本物のトリケラトプスの化石修復体験や木の葉の化石発掘体験など延べ 16 回の体験型ワークショップを開催しました。

秋には、3D 映像も上映できるように大型映像上映システムを更新し、11 月 3 日にリニューアル・オープニング式典を開催しました。東海地方初となる最新鋭のレーザー・シネマ・プロジェクターが、日本最大級の巨大スクリーンに映し出す映像は迫力満点で、「のんほいパーク」の新たな人気施設が誕生しました。

また、冬から春にかけて、10 年ぶりに野外恐竜ランドのブラキオサウルスの塗り替えを行いました。3 月 21 日からお披露目となった新たなデザインは、2,240 点の応募作品から審査・投票を経て選ばれたものです。

この他、開館 30 周年にあわせて、2 月 14 日・15 日に「全国科学博物館協議会総会・研究発表大会」を開催し、およそ 120 名の博物館関係者が出席し、博物館活動におけるイノベーションを切り口に地域文化の核となる博物館について議論を深めました。

開館 30 周年記念事業以外では、「亥～猪ちよこ口っととイノシシ～」、「ヘビー級標本」などの企画展や市内小中学校からの優秀作品を展示する「第 14 回自然史博物館自由研究展」、「収蔵庫見学会」などの解説会、「表浜でビーチコーミング」などのワークショップ、名古屋大学の先生方による「名古屋大学出前授業 in 豊橋 2018」などを開催したほか、小中学校や各種団体等への出前講座、博物館実習生や職場体験学習の生徒の受入れなどを行いました。また、名古屋芸術大学との協働事業では、ミュージアムコンサート開催のほか、特別企画展に合わせティラノサウルスの巨大模型の制作と展示室内の壁面デザインの作成を行いました。

東三河ジオパーク認定への取組では、東三河ジオパーク構想推進準備会においてジオツアーやシンポジウムを開催したほか、ジオガイドの養成に取り組み、25 名の方がジオガイド認定試験に合格しました。

平成 30 年度も子どもから大人まで幅広い世代の方に来館いただき、入館者は前年度より 10,614 人多い 666,104 人となり、開館以来の累計来館者は、14,979,941 人となりました。時代は、平成から令和へと移りましたが、新たな時代も来館される全ての方がご満足いただける魅力ある博物館となるよう、職員一同、より一層努力してまいります。

令和元年 6 月
豊橋市自然史博物館

目次

はじめに		2) インターンシップ	31
I. 年間事業		3) 教員研修等	31
1. 平成30年度のあゆみ	5	4) その他	31
2. 開館30周年記念事業	7	(14) 出版活動	32
3. 教育普及活動		(15) 連携・共催事業等	
(1) 第33回特別企画展		1) 名古屋芸術大学との連携事業	32
「体感! 恐竜ワールド」	9	2) あいちサイエンス・コミュニケー ション・ネットワーク	33
(2) 企画展		3) 二川地区連携事業	
1) 自然史博物館30年の歩み	15	「謎解き フタガワCODE」	33
2) 博物館のウラワザ	15	4) AELネット環境学習スタンプラリー	34
3) 亥〜猪口つとイノシシ〜	15	5) 東三河野鳥同好会講演会	34
4) ヘビー級標本	15	(16) 講師・委員の派遣等	
(3) トピック展示	16	1) 出前授業	35
(4) 大型映像	17	2) 講演等への講師の派遣	36
(5) 東三河ジオパーク構想事業	20	3) 委員等の委嘱、派遣	38
(6) ワークショップ・展示解説会など		4. 学会等の開催	
1) ワークショップ	21	(1) 全国科学博物館協議会総会・研究 発表大会	38
2) 開館30周年記念企画展ワークショップ	22	5. 調査研究活動	
3) 解説会	23	(1) 学芸員の研究業績等	39
4) 収蔵庫見学会	24	(2) 学会、研究会等への参加	43
5) 名古屋大学出前授業 in 豊橋 2018	24	6. 資料の収集・保管活動	
(7) 総合動植物公園関連イベント		(1) 採集資料	44
1) ナイトドリーム	25	(2) 寄贈資料	45
2) ナイトZOO	25	(3) 収蔵資料状況	49
3) お泊まりワークショップ	25	(4) 鳥類等の資料化	49
(8) 第14回自然史博物館自由研究展	26	(5) マッコウクジラ頭骨除肉・脱脂	49
(9) 自由研究相談	27	(6) 外部研究者の資料利用	49
(10) 市民からの質問等対応	27	(7) 資料及び標本の貸出・借用	50
(11) 小中高等学校等の学習支援		(8) 図書	52
1) 標本貸出セット	28	7. 施設整備	
2) 職場体験学習等	29	(1) 大型映像3D化	53
3) わくわく体験活動	29	(2) 野外恐竜模型(ブラキオサウルス)修繕	53
4) 高等学校・大学の学習利用	29	(3) その他修繕等	54
5) 校外学習等	29	II. 利用状況	
6) 授業・学習支援センターへの協力	30	1. 入館者	
(12) 博物館実習生等の受入れ		(1) 自然史博物館利用統計	55
1) 平成30年度博物館実習	30	(2) 入館者種別	56
2) 大学の博物館学関連実習等	30	(3) ホームページ閲覧者数	57
(13) 研修等の受入れ		(4) 石巻自然科学資料館入館者状況	58
1) 現職教員の研修等	30		

III. 組織及び運営	
1. 組織	
(1) 運営組織 -----	59
(2) 自然史博物館職員 -----	59
2. 博物館の使用料等 -----	59
3. 決算	
(1) 平成30年度歳入歳出決算見込 ---	60
4. 豊橋市自然史博物館協議会 -----	61
5. 各種委員会	
(1) 豊橋市自然史博物館資料収集委員会 -	62
(2) 豊橋市自然史博物館研究委員会 -	62
(3) 豊橋市自然史博物館大型映像番組選定委員会 -	62
6. 自然史博物館ボランティア -----	63
IV. 条例、規則、要綱 -----	65
自然史博物館の概要 -----	71

I. 年間事業

1. 平成 30 年度のあゆみ

30. 4. 1. 大型映像「ジュラシックヒーローズ」他（～6.23）
- 4.10. 東三河管内小中学校校長会
- 4.13. トピック展示「発見！新種巻貝化石」（～5.27）
- 4.18. 中核市議長会一行来館
- 4.21. 新規ボランティア説明会
- 4.28. 企画展「自然史博物館 30 年の歩み」（～5.27）
5. 1. 臨時開館
5. 2. 開館 30 周年記念式典
名芸大ミュージアムコンサート
開館 30 周年記念年間優待券発売開始
- 5.19. 博物館ボランティア総会
- 5.28. 臨時開館
トピック展示「カタツムリ」（～7.18）
- 6.24. リアル恐竜ライブショー DINO-A-LIVE
7. 3. 第 1 回自然史博物館研究委員会
7. 6. 企画展「博物館のウラワザ」（～9.30）
JR 豊橋駅に特別企画展 PR 模型設置（～8.29）
- 7.13. 特別企画展「体感！恐竜ワールド」（～9.2）
- 7.19. 第 1 回自然史博物館協議会
トピック展示「セミ」（～10.7）
- 7.21. 名芸大ミュージアムコンサート
- 7.27. 博物館実習生受入れ（～8.3）
8. 5. のんほいパークファン感謝デー
8. 7. 三遠南信地域中学生交流会受入れ
8. 9. 「夏休みおもしろ実験・観察教室 in しんしろ」出展
9. 4. 台風 21 号のため休園
9. 6. 愛知県ボランティア活動功労者表彰受賞（豊橋市自然史博物館ボランティア：愛知県庁）
- 9.19. 第 2 回自然史博物館研究委員会（～9.21）
- 9.16. お泊りワークショップ（～9.17）
- 9.30. 台風 24 号のため停電（9.30 22:35～10.2 朝まで）
- 10.13. 第 14 回豊橋市自然史博物館自由研究展（～11.11）、同表彰式
- 10.18. トピック展示「キタミトホシカミキリ」（～1.31）
11. 3. 大型映像 3D 化リニューアル・オープニング式典、「ダイナソー DX」3D 版ほか上映開始（～2.28）
二川地区連携事業「謎解き フタガワ CODE」（～3.17）
11. 9. 一日市議会議長来館
- 11.18. 名古屋大学出前授業①「永久凍土と気候変動」
- 11.19. 臨時開館
- 11.25. 名古屋大学出前授業②「『右利き・左利き』の決まり方」
12. 9. 名古屋大学出前授業③「ヘビの胴体はなぜ長い？」
- 12.12. 第 2 回自然史博物館協議会
- 12.15. 企画展「亥～猪口ちよこっとイノシシ～」（～1.14）
- 12.21. 自然史博物館資料収集委員会
恐竜大掃除
31. 1. 6. 東三河野鳥同好会 普及講演会
- 1.13. 「教員のための博物館の日」出展
- 1.26. 企画展「ヘビー級標本」（～3.3）
- 2.14. 全科協総会・研究発表大会（～2.15）
- 2.22. 第 3 回自然史博物館協議会（岐阜かかみがはら航空宇宙博物館視察）
3. 1. 大型映像新番組「スカイズ」3D 版他（～6.23）
3. 2. トピック展示 宇宙からの訪問者「長良隕石」（～4.14）

- 3. 8. 第3回自然史博物館研究委員会
- 3.10. 館内ミュージアムショップ「ジュラ」閉店
- 3.13. 園内防災訓練
- 3.21. ブラキオサウルス色塗りデザイン表彰式
新ミュージアムショップ開店
- 3.23. ダイナソー VR 体験「恐竜戯画」
(～3.25)

2. 開館 30 周年記念事業

(1) 企画展「自然史博物館 30 年の歩み」

と き：平成 30 年 4 月 28 日（土）～ 5 月 27 日（日）

ところ：イントロホール
～化石を知るコーナー

内 容：自然史博物館 30 年の変遷を紹介
観覧料：無料

(2) 開館 30 周年記念式典

と き：平成 30 年 5 月 2 日（水）9：30～

ところ：自然史スクエア

内 容：初公開の恐竜化石（エドモントサウルス腰骨）、名古屋芸術大学学生によるファンファーレ生演奏、ハッピーバースデー斉唱、クラッカー演出など

参列者：市長、議長、教育長、博物館ボランティア、二川小・二川南小 6 年生児童、一般市民 300 人



(3) 開館 30 周年記念年間優待券の発売

と き：平成 30 年 5 月 2 日（水）

内 容：特別企画展及び大型映像が平成 31 年（2019 年）6 月 23 日まで何回でも観覧できる優待券を限定 2,000 枚（大人 1,500 枚、小人 500 枚）発売

価 格：大人 1,500 円、小人 500 円（中学生以下）

(4) 開館 30 周年記念缶バッジの発売

と き：平成 30 年 5 月 2 日（水）～

内 容：カプセル TOY（ガチャガチャ）を利用した 30 周年記念缶バッジの発売

価 格：100 円／個

(5) 企画展「博物館のウラワザ」

と き：平成 30 年 7 月 6 日（金）～ 9 月 30 日（日）

内 容：学芸員やボランティアによる標本作製等の実演ブースを設置

観覧料：無料

(6) 特別企画展「体感！恐竜ワールド」

と き：平成 30 年 7 月 13 日（金）～ 9 月 2 日（日）

内 容：実物大の動く恐竜模型 10 体など

観覧料：大人 800 円、小中学生 400 円

(7) 野外恐竜模型「ブラキオサウルス」色塗りデザイン募集

募集期間：平成 30 年 7 月 13 日（金）～ 9 月 30 日（日）

表彰式：平成 31 年 3 月 21 日（木・祝）14：00～

内 容：第 33 回特別企画展「体感！恐竜ワールド」の関連イベントとしてデザインを募集した。応募作品 2,240 点の中から 20 点を選び、来館者の投票で当選した熊谷晃伸さん（豊橋市）の作品を塗り替えの参考とした。

(8) 大型映像リニューアル（3D化）

オープニング式典 平成30年11月3日（土・
祝）9：30～

概 要 映像機器を3D対応のレーザー・シ
ネマ・プロジェクターに更新。音響
設備、スクリーンも一新し、日本最
大級のスクリーンをもつ最新鋭の
3D大型映像としてリニューアルオ
ープンした。

3. 教育普及活動

(1) 第33回特別企画展「体感!恐竜ワールド」 (開館30周年記念事業)

開催期間：平成30年7月13日(金)
～9月2日(日)46日間

会場：特別企画展示室(約600㎡)

主催：豊橋市自然史博物館

概要：開館30周年を記念し、博物館で最も人気のある「恐竜」をテーマに例年より規模を拡大して開催。子供たちに人気のリアルに動く、動かせる、恐竜ロボットを導入し、長年収集した館所蔵の豊富な化石標本を基に、恐竜の進化の歴史やその多様性、生態などについて、恐竜が生きた世界を体感しつつ、楽しく学ぶ機会として開催した。また、同時期開催の企画展「博物館のウラワザ」とコラボした恐竜修復体験を含む多くの体験イベントや名古屋芸術大学によるミュージアムコンサートなども行った。

展示点数：156点(恐竜ロボット10体、化石標本134点；うち恐竜関連標本は36点、小田隆氏製作復元画12点)



【展示構成】

1. 恐竜前夜

恐竜が出現する直前の古生代ペルム紀における大陸移動と気候変動、大量絶滅について紹介。

<主な展示物>

リストロサウルス全身骨格レプリカ1点、メソサウルス化石1点、グロソプテリス実物化石1点。小田隆氏制作復元画「哺乳類型爬虫類の繁栄」、「植物の陸上進出」。

2. 巨大に!多様に!

中生代三畳紀に出現した恐竜が、大量絶滅や気候変動を経て、その後のジュラ紀でどう巨大化、多様化したのかを化石標本等を交えて紹介。ジュラ紀の代表的な恐竜であるアロサウルスとステゴサウルスの恐竜ロボットを展示。

<主な展示物>

エオラプトル全身骨格レプリカ、スーパーサウルス肩甲骨レプリカ、ケラトサウルス頭骨レプリカなど9点、恐竜ロボット2体(アロサウルス、ステゴサウルス)。小田隆氏制作復元画「三畳紀末の大量絶滅」。



3. 中生代の海と空

恐竜が地上で多様化、巨大化した中生代で、陸地以上の激変を受けた海洋環境で進化、繁栄した生物と、新たなフロンティアである空へと進出した翼竜や鳥類の誕生について紹介。吊下げ式のケツアルコアトルスの恐竜ロボットを展示。

<主な展示物>

クビナガリュウ(北海道)、ケイチョウサウルス、シーラカンスを含む中生代の魚類化石、アンモナイト類の化石、クラドフレビスを含む中生代の植物化石、始祖鳥(ベルリン)

標本) レプリカなど 80 点。恐竜ロボット 1 体 (ケツァルコアトルス)。小田 隆氏制作復元画「中生代の鳥類」、「サンタナ層の海生生物」、「ゾルンホーヘンの生物」など 8 点。



4. 白亜紀の恐竜

世界中に拡散し、多様化した中生代白亜紀の恐竜について、収集した当館所蔵の化石標本等を用いて紹介するとともに、操作可能なティラノサウルスを始めとする 7 体の恐竜ロボットを展示。

<主な展示物>

エドモントサウルス腰骨、トリケラトプス腸骨、パキケファロサウルス頭骨レプリカ、デンバーサウルス頭骨レプリカなど 33 点、恐竜ロボット 7 体 (カルノタウルス、スピノサウルス、トリケラトプス、サイカニア、デイクス、オヴィラプトル、ティラノサウルス)、小田 隆氏制作復元画「白亜紀の景観」。



5. 恐竜時代のおわり

中生代白亜紀の終わりに起きた大量絶滅後に、恐竜を始祖として生き残った鳥類が、多

様な環境下で、現在の繁栄を築いていることを紹介。

<主な展示物>

鳥類剥製標本 9 点。

【フォトスポットコーナー】



【体験コーナー】

①「恐竜ロボット操作体験」

ティラノサウルスの恐竜ロボットを遠隔操作できるコーナーを設置した。恐竜化石から推測される可動域で、スティック操作により上下左右に体を動かしつつ、唸り声や鼻息などをスイッチで操作する体験を来場者に提供した。

期間中の参加者数：16,146 人



【関連行事】

特別企画展解説会

特別企画展会場にて解説会を2回開催し、123人が参加した。

①「恐竜のお食事」

講師：吉川博章（当館主任学芸員）

期 日：平成 30 年 7 月 16 日（月・祝）

参加者：53 人

内 容：恐竜は何を食べていたのか？会場で展示した恐竜や植物化石やパネルを使って解説。

②「恐竜の世界の始まり」

講師：一田昌宏（当館学芸員）

期 日：平成 30 年 8 月 14 日（火）

参加者：70 人

内 容：会場で実物の標本を見ながら、なぜ恐竜は栄えることができたのか古生代～中生代の大陸移動をもとに解説。

特別企画展ワークショップ

特別企画展「体感！恐竜ワールド」の関連イベントとしてワークショップを11回開催し、191人が参加した。

①「カラフルなアンモナイトのレプリカを作ろう」

講師：当館教育普及ボランティア

期 日：平成 30 年 7 月 28 日（土）、7 月 29 日（日）、8 月 11 日（土・祝）、8 月 12 日（日）、8 月 13 日（月）の 5 回

場 所：自然史博物館学習室

参加者：各日 30 人、22 人、24 人、23 人、25 人、計 124 人（当日の特別企画展観覧者の希望者から抽選）

内 容：カラフルなプラスチック粘土（最大 3 色）を使って、アンモナイト

のレプリカを作成。



②「ティラノサウルスの歯を作って GET!!」

講師：安井謙介（当館主任学芸員）

期 日：平成 30 年 8 月 4 日（土）、8 月 17 日（金）

場 所：自然史博物館学習室

参加者：各日 10 人、計 20 人（当日の特別企画展観覧者の希望者から抽選）

内 容：ティラノサウルスの歯の型でレプリカをつくり、恐竜の歯について学んだ。



③「ガーネットを取り出してみよう」

講師：加藤千茶子（当館主任学芸員）

期 日：平成 30 年 8 月 18 日（土）、8 月 19 日（日）

場 所：自然史博物館学習室

参加者：各日 10 人、計 20 人（当日の特別企画展観覧者の希望者から抽選）

内 容：花崗岩を割ったり切断したりしてガーネットの部分を取り出した。



④「木の葉の化石発掘体験」

講師：吉川博章（当館主任学芸員）

期 日：平成 30 年 8 月 25 日（土）、8 月 26 日（日）

場 所：自然史博物館学習室

参加者：各日 13 人、14 人、計 27 人（当日の特別企画展観覧者の希望者から抽選）

内 容：塩原湖成層の植物化石について解説し、クリーニングを行った。

【体験イベント】

①「化石発掘体験」

期 間：平成 30 年 7 月 18 日（水）～8 月 31 日（金）の水曜日と金曜日（ただし 8/15 と 8/17 を除く 12 日間）の 9：00～12：00

定 員：各日先着 50 人

内 容：石膏に埋め込んだアンモナイトをタガネとハンマーを使って取り出す体験。化石を石膏に埋め込む作業も含め、桜丘中学校・高等学校生物部及び豊丘高等学校自然科学愛好会の生徒が対応した。

参加者：600 人



【名古屋芸術大学との連携事業】

①「ティラノサウルスのオブジェ制作」

特別企画展を PR するため、名古屋芸術大学卒業生の加藤真浩さん他 1 名の学生により制作されたティラノサウルスの巨大模型のオブジェを豊橋駅に設置した。

設置期間：平成 30 年 7 月 6 日（金）～8 月 29 日（水）



②「特別企画展会場壁面イラストの制作」

恐竜が生きていた時代をよりリアルに体感してもらうため、恐竜ロボットの背景画として、特別企画展会場の壁面 4 箇所、名古屋芸術大学の櫃田珠実教授指導のもと、メディアコミュニケーションデザインコースの学生 5 人が制作したイラストを使用した。

- ・アロサウルス壁面制作：内藤四季
- ・ステゴサウルス壁面制作：佐藤功基
- ・デイノニクス・オヴィラプトル壁面制作：内藤四季、佐藤功基
- ・トリケラトプス・サイカニア壁面制作：林春花、溝口奈緒、坂部礼奈

③ミュージアムコンサートの開催

特別企画展の開催期間にあわせて、恐竜をイメージさせる曲を中心に、ミュージアムコンサートを開催。

期 日：平成 30 年 7 月 21 日（土）11：00～、
13：30～

場 所：自然史博物館自然史スクエア

演奏者：藤村堯弘、原 秀弥、内田匡俊、加藤海平、時田莉佐、望月 茜

参加者：171 人（1 回目 77 人、2 回目 94 人）

【映画館との連携事業】

ユナイテッドシネマ豊橋 18、豊川コロナワールドが夏休み期間中に上映した恐竜関連の映画と、自然史博物館の特別企画展とで、広報活動において連携事業を展開した。

①ユナイテッドシネマ豊橋 18

- ・互いのポスター、チラシを掲示
- ・互いの観覧券の半券の提示にて、プレゼントを提供
- ・映画館内における自然史博物館特別企画展 PR ブースの設置
- ・自然史博物館館内における映画 PR 用ブースの設置

②豊川コロナワールド

- ・互いのポスター、チラシを掲示
- ・映画の観覧券半券の提示にて、会場入り口でプレゼントを提供
- ・講演「ジュラシック体験入門」付 映画上映会の開催

期 日：平成 30 年 8 月 4 日（土）

講 師：松岡敬二（当館館長）

参加者：30 人



【事業費】

総事業費 18,471,000 円（予算額）

【観覧者数】

有料 12,440 人
無料 8,865 人
合計 21,305 人
(1 日平均 463 人)

月別観覧者数 (人)

月	日数	有料	無料	計
7 月	16 日間	2,490	2,149	4,639
8 月	28 日間	8,901	5,947	14,848
9 月	2 日間	1,049	769	1,818
計	46 日間	12,440	8,865	21,305

【観覧料】

大 人 800 円（480 円※1）
小中学生 400 円（300 円※1）

※1 30 人以上の団体割引料金

【印刷物】

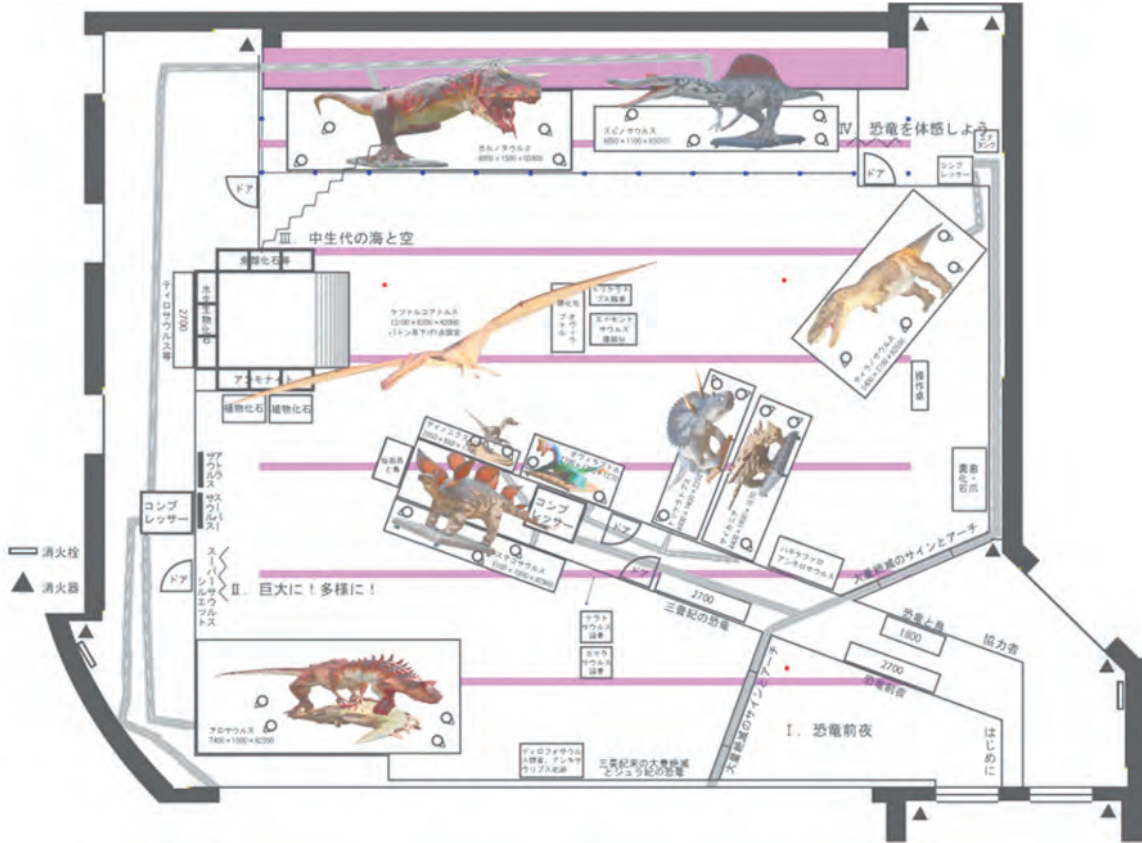
- ・ポスター B2 カラー（2,300 枚）
- ・広報用チラシ A4 カラー（100,000 枚）
- ・招待券カラー（2,000 枚）
- ・案内状（600 枚）

【協力者・協力機関】

(個人) 小田 隆、梅基昌之、岡村喜明、水野吉昭、前田晴良、唐沢興希、加藤真浩、櫃田珠実

(機関) 三笠市立博物館、名古屋芸術大学、桜丘中学校・高等学校生物部、愛知県立豊丘高等学校自然科学同好会、豊橋市自然史博物館ボランティア (順不同、敬称略)

【会場図】



(2) 企画展

1) 開館30周年記念・「国際博物館の日」記念企画展 自然史博物館30年の歩み

開催期間：平成30年4月28日（土）～5月27日（日） 27日間

会場：イントロホール～化石を知るコーナー

主催：豊橋市自然史博物館

概要：自然史博物館の開館からの歩みを写真やポスター、模型などで紹介。

会期中入場者数：112,548人



2) 開館30周年記念企画展 博物館のウラワザ

開催期間：平成30年7月6日（土）～9月30日（日） 75日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：企画展にあわせて製作した組み立て式ブースを用いて展示を行った。来館者が目にする事のない、ボランティアや学芸員の資料整理作業を展示し、会期中にブース内で実演も行った。

会期中入場者数：160,821人

関連イベント：ワークショップを5回開催

「開館30周年記念企画展ワークショップ」として詳細別掲（P.22、23）。



3) 亥ちよこ～猪口ちよことイノシシ～

開催期間：平成30年12月15日（土）～平成31年1月14日（月・祝） 24日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

協力：浜松市博物館

概要：イノシシをはじめ、平成31年の干支の動物イノシシに因んだ生物や民俗資料などを展示。

会期中入場者数：44,127人

4) ヘビー級標本

開催期間：平成31年1月26日（土）～3月3日（日） 32日間

会場：イントロホール～化石を知るコーナー

主催：豊橋市自然史博物館

概要：大型の化石、岩石標本、アジアゾ

ウ頭骨等を展示し、その標本の重要性をあわせて紹介。会期中ブース内で化石整理の様子も不定期で実演。

会期中入場者数：41,121人



(3) トピック展示

1) 発見！新種巻貝化石

開催期間：平成30年4月13日（金）～
5月27日（日） 40日間

会場：化石を知るコーナー

概要：松岡館長が発見したビワカワニナ類の新種化石5種のホロタイプなど約10点を紹介。

会期中入場者数：141,054人



2) 総合動植物公園内で見られるカタツムリ

開催期間：平成30年5月28日（月）～
7月18日（水） 45日間

会場：イントロホール

概要：「園内いきものガイド」で紹介しているカタツムリの実物を紹介と「園内生き物ガイド」の配布。

会期中入場者数：60,544人

3) 総合動植物公園内で見られるセミ

開催期間：平成30年7月19日（木）～
10月17日（水） 79日間

会場：イントロホール

概要：「園内いきものガイド」で紹介しているセミの実物を紹介と「園内生き物ガイド」の配布。

会期中入場者数：183,043人

4) キタミトホシカミキリ

開催期間：平成30年10月18日（木）～
平成31年1月31日（木） 89日間

会場：ミュージアムショップ横

概要：長谷川学芸専門員らが発見した日本初記録のカミキリムシとその近縁種を展示。

会期中入場者数：162,075人



5) 宇宙からの訪問者「長良隕石」

開催期間：平成31年3月2日（土）～
平成31年4月14日（日） 39日間

会場：イントロホール

概要：2012年に岐阜県岐阜市長良で発見され、後に分析を経て、2018年3月に公表された鉄隕石「長良隕石」を展示。

会期中入場者数：93,339人

関連イベント：ギャラリートーク長良隕石
平成31年3月17日（日）
詳細別掲（P.24）。



(4) 大型映像

1) 上映状況

①上映期間 平成 30 年 4 月 1 日～ 6 月 23 日

【通常上映】

「ジュラシックヒーローズ」(4K 作品、35 分)

「オーロラを見た恐竜たち」(4K 作品、35 分)

【期間限定上映】

「かいけつゾロリ まもるぜ! きょうりゅうのたまご」(35 分) (4/1～4/8)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
ジュラシックヒーローズ	600 (480)	200 (160)
オーロラを見た恐竜たち	500 (400)	200 (160)
かいけつゾロリ まもるぜ! きょうりゅうのたまご	400 (320)	100 (80)

※()内は 30 人以上の団体料金など

②関連イベント

リアル恐竜ライブショー DINO-A-LIVE

日 時：平成 30 年 6 月 24 日 (日)

1 回目 13：30～

2 回目 15：30～

定 員：各回 200 人

3/24～5/6 の期間中に大型映像をご覧になった方から抽選。

(応募数 1,573 通 6,075 人)

当日参加者 1 回目 153 人

2 回目 155 人

場 所：特別企画展示室 (大型映像会場)

内 容：恐竜くん (恐竜研究者、サイエンスコミュニケーター) による講演に引き続き、アロサウルスが生きているかのように会場を歩き回るショー、DINO-A-LIVE を開催。

参加料 無料 (総合動植物公園入園料が必要)



2) 大型映像リニューアル

大型映像の映像システム、音響及びスクリーンをリニューアルし、11 月 3 日の式典後に新システムで再スタートした。(p.53 参照)

①リニューアル・オープニング式典

日 時：平成 30 年 11 月 3 日 (土・祝)

9：30～11：00

内 容：

- ・主催者あいさつ 豊橋市長 佐原光一
- ・来賓あいさつ 豊橋市議会副議長 伊藤篤哉
- ・ええじゃないか豊橋伝播隊 DOEE のパフォーマンス
- ・恐竜くんによる恐竜解説の後、新システムで「ダイナソー DX」(3D 版) を上映

◇式典参加者 186 名 (招待者 93 名、当日の一般観覧者 93 名)



②リニューアル記念関連イベント

・恐竜くんによる恐竜解説

恐竜くんによる恐竜解説の後「ダイナソーDX」3D版を上映。

- 1回目 12:00～ (観覧者 182人)
- 2回目 13:20～ (観覧者 188人)
- 3回目 14:40～ (観覧者 132人)

・記念グッズプレゼント

11月3日の観覧者全員に「自然史博物館開館30周年記念クリアファイル」「特製ポストカード」「ティラノサウルス缶バッジ」をプレゼント。

・SNSキャンペーン

自然史博物館に関するハッシュタグを添えて、会場にある恐竜トリックアートの前で撮影した写真をSNSに投稿した方500名にオリジナルキャップをプレゼント。

3) リニューアル後の上映状況

①上映期間 平成30年11月3日～平成31年2月28日

【通常上映】

「ダイナソーDX」3D版・2D版 (40分)
「クジラが星に還る海」2D作品 (28分)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
ダイナソーDX 3D版	700 (560)	300 (240)
ダイナソーDX 2D版	500 (400)	200 (160)
クジラが星に還る海	400 (320)	200 (160)

※()内は30人以上の団体料金など

②上映期間 平成31年3月1日～3月31日

【通常上映】

「スカイズ～大空を飛ぶ生きものたち～」
3D版・2D版 (35分)
「新・恐竜大進撃」2D作品 (35分)

【期間限定上映】

「かいけつゾロリ ZZのひみつ」
2D作品 (30分) (3/23～3/31)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
スカイズ 3D版	700 (560)	300 (240)
スカイズ 2D版	500 (400)	200 (160)
新・恐竜大進撃	500 (400)	200 (160)
かいけつゾロリ ZZ のひみつ	400 (320)	200 (160)

※()内は30人以上の団体料金など

3月25日(月・祝)

9:30～16:15

定員:各日250人(整理券を配布)

対象:大型映像観覧者

会場:自然史博物館講堂

※13歳未満の方は子ども用VRでの体験

参加者 (人)

	大人	13歳以下	計
3月23日	112	111	223
3月24日	157	173	330
3月25日	88	96	184
計	357	380	737

③関連イベント

ダイナソーVR体験「恐竜戯画」

期間中の大型映像観覧者を対象にVRヘッドマウントディスプレイを着用して驚愕の没入体験ができる360°3Dバーチャルアトラクションを体験。

日時:平成31年3月23日(土)～

4) 天皇陛下御在位三十周年記念慶祝事業

天皇陛下の御在位30年の慶祝事業の一つとして大型映像観覧料を無料とした。観覧希望者に先着順で整理券を配布。

期日:平成31年2月24日(日)

観覧者:1,353人

平成30年度大型映像観覧実績(上映回数は954回)

上映作品	月	上映(開場)日数	観覧者数(人)	会期中の入館者数(※1)(人)	観覧率	年間優待券(購入)(※2)(円)	観覧料(円)
「ジュラシックヒーローズ」 「オーロラを見た恐竜たち」 「かいけつゾロリ」(4/1～4/8)	4月	26日間	4,815	74,408	6.5%	0	1,005,160
	5月	28日間	4,192	94,365	4.4%	313,000	1,138,100
	6月	20日間	2,178	31,601	6.9%	200,500	538,400
	小計	74日間	11,185	200,374	5.6%	513,500	2,681,660
	9月	-	-	-	-	-	-
	10月	-	-	-	-	10,500	10,500
「ダイナソーDX」3D版・2D版 「クジラが星に還る海」	11月	25日間	6,175	53,702	11.5%	126,500	1,470,300
	12月	24日間	3,119	25,518	12.2%	41,500	763,900
	1月	26日間	5,026	42,696	11.8%	69,000	1,452,500
	2月	22日間	4,439	29,927	14.8%	19,000	849,200
	小計	97日間	18,759	151,843	12.4%	266,500	4,546,400
「スカイズ」3D版・2D版 「新・恐竜大進撃」他	3月	28日間	6,082	66,854	9.1%	0	1,168,340
	小計	28日間	6,082	66,854	9.1%	0	1,168,340
合計		199日間	36,026	419,071	8.6%	780,000	8,396,400

(※1) 上映していない期間は除く

(※2) 6/26～7/12の年間優待券売上は特別企画展売上を含む

(5) 東三河ジオパーク構想事業

東三河には多くの特徴的な地形、地質が存在する。自然史博物館では、これらを保全・保護し、観光資源として生かす「ジオパーク」の認定を目指す活動に取り組んでいる。

平成30年度には、新城市に事務局を置く「東三河ジオパーク構想推進準備会」を軸に、東三河8市町村と連携して、シンポジウムやジオツアー、ジオガイド認定講座7回を開催した。また12月には、新城市の馬背岩を会場にジオガイド認定試験を3回に分けて行い、ジオガイド認定講座受講者の内、25名が試験に合格した。

博物館独自の取り組みとしては、教育普及事業の一環としてジオツアーを3回開催し、推進準備会の一員として、認定に向けた情報収集、情報発信等に取り組んだ。

1) ジオツアーの開催

新たなジオサイトの開発や新規顧客の獲得を目的としたジオツアーを平成30年度は3回開催し、60人が参加した。

ジオツアー①「豊川の石はどこから」

講師：加藤千茶子（当館主任学芸員）・坂本博一（当館主幹学芸員）

期日：平成30年6月24日（日）

場所：新城市、設楽町ほか

参加者：16人

内容：身近な河川である豊川に集まる石のルーツを探った。



ジオツアー②「渥美半島の成り立ちを追う」

講師：吉川博章（当館主任学芸員）・松岡敬二（当館館長）

期日：平成30年12月2日（日）

場所：田原市、豊橋市

参加者：21人

内容：渥美半島の太平洋岸の地層などから渥美半島の成り立ちを追う。



ジオツアー③「化石と地質の研究のやりかた」

講師：一田昌宏（当館学芸員）・松岡敬二（当館館長）・加藤千茶子（当館主任学芸員）

期日：平成31年3月30日（土）

場所：豊橋市

参加者：23人

内容：子どもでもわかる基礎的な化石や地質の研究の仕方について解説。



2) ジオパーク認定へ向けた情報収集・発信等

東三河ジオパーク構想推進準備会は、日本ジオパークネットワークの準会員として、全国大会や研修会、中部ブロック大会等への出席や情報発信、ジオパークの認定申請などの継続的な情報収集を行っている。

平成30年度には、12月に行ったジオガイド認定試験において、伊豆半島ジオパークでジオガイド協会の立ち上げに携わった前会長田畑朝恵さんにも試験官を依頼し、アドバイスを受けた。

①ユネスコ世界ジオパーク推薦および新規日本ジオパーク認定プレゼンテーション

期 日：平成30年5月19日（土）

場 所：千葉県千葉市

参加職員：仲井慎治

②第9回日本ジオパークアポイ岳大会

期 日：平成30年10月5日（金）～8日（月）

場 所：北海道様似郡様似町

参加職員：加藤千茶子

③第10回日本ジオパークネットワーク全国研修会

期 日：平成30年11月15日（木）、16日（金）

場 所：福井県勝山市

参加職員：加藤千茶子、一田昌宏

④第5回日本ジオパークネットワーク中部ブロック大会

期 日：平成30年12月1日（土）～2日（日）

場 所：静岡県伊豆の国市

参加職員：加藤千茶子

3) 東三河ジオパーク構想推進準備会

第1回東三河ジオパーク構想推進準備会

期 日：平成30年5月17日（木）

場 所：東三河総局

参加委員：仲井慎治

第2回東三河ジオパーク構想推進準備会

期 日：平成30年11月29日（木）

場 所：東三河総局

参加委員：仲井慎治

第3回東三河ジオパーク構想推進準備会

期 日：平成31年3月27日（水）

場 所：東三河総局

参加委員：仲井慎治、加藤千茶子

4) ジオ専門部会

第1回ジオ専門部会

期 日：平成30年5月9日（水）

場 所：東三河総局

参加委員：加藤千茶子

第2回ジオ専門部会

期 日：平成30年10月24日（水）

場 所：東三河総局

参加委員：加藤千茶子

(6) ワークショップ・解説会など

地学、生物学などの自然科学に親しみ基本的な知識が得られる入門講座として、開館時から毎年開催している。平成30年度は名古屋大学出前授業以外の講演会を行わず、ワークショップと解説会を開催した。

1) ワークショップ

①「潮干狩りで生きものを探そう」

講 師：西 浩孝（当館学芸員）

吉川博章（当館主任学芸員）

松岡敬二（当館館長）

期 日：平成30年5月19日（土）

場 所：豊橋市前芝海岸

参加者：41人

内 容：干潟で見られる貝類やカニ類を観察し、干潟の生態系を学ぶ。

②「表浜でビーチコーミング」

講 師：西 浩孝（当館学芸員）
安井謙介（当館主任学芸員）

期 日：平成 30 年 6 月 9 日（土）

場 所：表浜海岸

参加者：21 人

内 容：海岸に漂着した貝殻や骨などを探し、海的环境を学ぶ。



③「外来魚調査隊」

講 師：坂本博一（当館主幹学芸員）
西 浩孝（当館学芸員）

期 日：平成 30 年 7 月 25 日（水）

場 所：豊橋市向山大池

参加者：29 人

内 容：市内のため池の外来魚の採集調査を通して、その見分け方や生息状況、問題点を解説。

④「チリモン探し体験」

講 師：坂本博一（当館主幹学芸員）

期 日：平成 30 年 8 月 2 日（木）

場 所：自然史博物館講堂

参加者：68 人

内 容：シラスに混じって漁獲された小さな生きものを探し出して観察。

2) 開館 30 周年記念企画展ワークショップ
企画展「博物館のウラワザ」及び特別企画

展「体感！恐竜ワールド」の関連イベントとしてワークショップを 5 回開催し、66 人が参加した。

①恐竜修復体験「トリケラトプス」

講 師：一田昌宏（当館学芸員）

期 日：平成 30 年 7 月 22 日（日）

場 所：自然史博物館イントロホール企画展ブース内

募集方法：平成 30 年 4 月 28 日（土）～5 月 28 日（月）の大型映像観覧者の内、希望者から小中学生を含む 1 組を抽選

参加者：1 組（4 人）

283 組（1,110 人）の応募の中から、静岡県浜松市のご家族が当選。

内 容：一般のご家族に、特別企画展「体感！恐竜ワールド」にて展示した実物のトリケラトプス化石の修復作業を、プロの道具を使って体験してもらった。



②アンモナイトを発掘してゲットしよう

講 師：一田昌宏（当館学芸員）

期 日：平成 30 年 7 月 26 日（木）、8 月 5 日（日）、8 月 15 日（水）

場 所：自然史博物館東側ピロティ付近

参加者：各日 19 人、19 人、20 人、計 58 人（当日の特別企画展観覧者の希望者から抽選）

内 容：北海道産のアンモナイトをクリーニング。



③恐竜修復体験「エドモントサウルス」

講師：一田昌宏（当館学芸員）
 期 日：平成 30 年 8 月 17 日（金）
 場 所：自然史博物館イントロホール企画
 展ブース、エドモントサウルス展
 示室

募集方法：平成 30 年 7 月 13 日（金）～7
 月 31 日（火）の特別企画展観
 覧者の内、希望者から小中学生
 を含む 1 組を抽選。

参加者：1 組（4 人）

158 組（861 人）の応募の中から、
 豊橋市のご家族が当選。

内 容：一般のご家族に、特別企画展「体
 感！恐竜ワールド」にて展示した
 実物のエドモントサウルスの腰骨
 化石及び、展示室のボーンベッド
 の修復作業を体験してもらった。



3) 解説会

学芸員がそれぞれの専門分野について、イ
 ントロホールや展示室など博物館内で行う、

申込不要、参加無料の解説会。平成 30 年度
 は 8 回（トピック展示「長良隕石」のギャラ
 リートークを含む）開催し、444 人が参加し
 た。

①「蚊の口はどうなっている？」

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）

期 日：平成 30 年 7 月 1 日（日）

参加者：38 人

内 容：蚊はどうやって血を吸うのか、蚊
 の口のしくみを電子顕微鏡で観
 察。

②「ダンゴムシのふしぎ」

講 師：西 浩孝（当館学芸員）

期 日：平成 30 年 9 月 15 日（土）

参加者：71 人

内 容：ダンゴムシが迷路に挑戦！面白い
 行動を紹介。

③「スズメバチの巣を解体してみよう」

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）

期 日：平成 30 年 9 月 22 日（土）、10 月
 6 日（土）

参加者：各日 90 人、42 人、計 132 人

内 容：スズメバチの巣を解体して巣のし
 くみを観察。

④「シロアリをあやつろう」

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）

期 日：平成 30 年 10 月 20 日（土）、11 月
 17 日（土）

参加者：各日 53 人、68 人、計 121 人

内 容：ボールペンをつかったシロアリの
 道しるべフェロモンについての実
 験に挑戦。

⑤「イノシシを知る」

講 師：安井謙介（当館主任学芸員）

期 日：平成 31 年 1 月 5 日（土）

参加者：41人

内 容：2019年の干支の動物イノシシの秘密について、頭骨標本を用いて紹介。

⑥ギャラリートーク長良隕石

講 師：三津村勝征氏（隕石所有者）

期 日：平成31年3月17日（日）

参加者：41人

内 容：トピック展示「宇宙からの訪問者『長良隕石』」の関連イベントとして長良隕石を発見した経緯について解説。



4) 収蔵庫見学会

収蔵庫に保管されている博物館資料をテーマ別に担当学芸員が案内、各回の定員は30人。6回開催し、158人が参加した。

①「貝類標本」

講 師：西 浩孝（当館学芸員）

期 日：平成30年5月12日（土）

参加者：14人

②「化石標本」

講 師：吉川博章（当館主任学芸員）

期 日：平成30年9月8日（土）

参加者：27人

③「昆虫標本」

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）

期 日：平成31年1月26日（土）

参加者：27人

④「岩石・鉱物標本」

講 師：加藤千茶子（当館主任学芸員）

期 日：平成31年2月2日（土）

参加者：27人

⑤「魚類標本」

講 師：坂本博一（当館主幹学芸員）

期 日：平成31年2月23日（土）

参加者：27人



⑥「骨格標本」

講 師：安井謙介（当館主任学芸員）

期 日：平成31年3月2日（土）

参加者：36人

5) 名古屋大学出前授業 in 豊橋 2018

平成26年度からあいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事業として、名古屋大学が取り組む第一線研究について紹介するサイエンス・トーク「名古屋大学出前授業 in 豊橋」を開催している。平成30年度は3回開催し、131人が受講した。

①「永久凍土と気候変動」

講 師：檜山哲哉さん（名古屋大学宇宙地球環境研究所教授）

期 日：平成30年11月18日（日）

参加者：35人

内 容：シベリアとモンゴルの気候変動に

ついて、地球温暖化が両地域の永久凍土に与える影響を調査した結果を紹介。

②「『右利き・左利き』の決まり方」

講師：小田洋一さん（名古屋大学理学部
名誉教授・国際機構特任教授）

期 日：平成 30 年 11 月 25 日（日）

参加者：41 人

内 容：正確で力強い動作をするときに使われる「利き手」が決まる仕組みを、アフリカ・タンガニカ湖に棲む鱗食魚から見つけたことを紹介。

③「ヘビの胴体はなぜ長い？～脊椎動物の後ろ足の位置の進化のメカニズム～」

講師：鈴木孝幸さん（名古屋大学大学院
生命農学研究科准教授）

期 日：平成 30 年 12 月 9 日（日）

参加者：55 人

内 容：スッポンからヘビ、そして化石の首長竜まで脊椎動物の後ろ足の位置の多様性が生み出されたメカニズムを、最新の発生生物学を用いて紹介。

(7) 総合動植物公園関連イベント

1) ナイトドリーム

①ナイト・ミュージアム de 宝探し

期 日：4月1日（日）

参加費：500 円

定 員：15 組（1 組 5 人まで）

参加者：50 人

内 容：のんほいパークのナイトドリームの開催に合わせて、ランタンの灯りとキーワードをたよりに暗黒の自然史博物館を探検して 10 個の宝石を集める。

2) ナイト ZOO

①ナイトミュージアム

のんほいパークのナイト ZOO の開催に合わせて、常設展の照明を一部落とし、昼間と異なる雰囲気を楽しめるようにした。

期 間：8 月 11 日～19 日、25 日、26 日

9 月 1 日、2 日、8 日、9 日、15～17 日、
23 日、24 日（8/15 は雨天のため中止）

②特別企画展「体感！恐竜ワールド」

開催中の特別企画展をナイトバージョンにライトアップ。また、特別企画展観覧者お楽しみ企画として「宝石さがしに挑戦」を開催した。

期 間：8 月 11 日～19 日、25 日、26 日

9 月 1 日、2 日（8/15 は雨天のため中止）

観覧料：昼間と同額

ナイト ZOO 期間中の特別企画展観覧者（人）

	大人	小中学生	無料	計
8 月	1,249	635	518	2,402
9 月	138	56	60	254
計	1,387	691	578	2,656

宝石さがしに挑戦

実施日数：12 日

参加者数：2,165 人



3) お泊まりワークショップ

期 日：9 月 16 日（日）～9 月 17 日（月）

主 催：豊橋おやじの会

参加費：31 人

内 容：ナイト ZOO 参加後、自然史博物

館に宿泊体験し、翌朝の動物の「エサやり」を見学した。

(8) 第14回自然史博物館自由研究展

生物や地学をテーマにした市内の小・中学生の優れた自由研究作品を表彰・展示するため、平成17年度から開催している。出品作品については、各小・中学校の協力のもと、児童・生徒が夏休みの課題として提出したものから選考した。平成30年度は初めて市内の公立小中学校すべてから提出があった。表彰式にあわせて最優秀賞の受賞者による発表会を開催した。

開催期間：平成30年10月13日（土）～11月11日（日）

表彰式・優秀作品発表会：平成30年10月13日（土）13：00～

会場：イントロホール、自然史スクエア他

応募総数：214点（小学校52校145点、中学校22校69点）

※市内小中学校各校から3点以内を選抜して応募。ただし小学校24クラス以上、中学校18クラス以上の場合は4点以内。

<入賞作品>

○最優秀賞

【小学生】

二川南小学校 5年 石川春果

「植物の発根の観察実験 PART 3 シロツメクサの発根のひみつ」

【中学生】

青陵中学校 2年 杉本 翼

「ゲンジボタルの見られる所見いつけた パート5 変化のない産卵場所を作り出すゲンジボタルの真相」

○優秀賞

【小学生】

松葉小学校 6年 中野千乃

「メダカの研究 Part II メダカの体色の遺伝～521匹の子メダカの観察から～」

岩田小学校 6年 小林伸輝

「根と葉について2」

【中学生】

東陽中学校 3年 贅 充希

「ハンミョウの研究5」

東陽中学校 2年 岩田くるみ

「雑草なんて言わせない！！本当はすごい！タンポポ Part2」

○奨励賞

【小学生】

植田小学校 5年 石田奈都

「まいど！って出てくると思ったら出てこなかったよ埋土種子」

小学校 5年

「セミの抜けガラ・鳴き声調査2018『アブラゼミよりクマゼミの方が多くなっている』という話は本当なのか？」

東田小学校 5年 森田 圭

「川の水の量は測れるの？」

石巻小学校 4年 小林優花

「大発見！米のとぎじるパワー～ミニトマトを育てて～」

花田小学校 5年 市川ひとみ

「アリの研究 Part4」

【中学生】

高師台中学校 2年 間瀬優芽

「スイカの秘密 Part3（栽培 version）」

中部中学校 1年 石川琳子

「カメのしている世界 Part2」

東陽中学校 1年 佐藤麗桜

「ウズラの自然孵化にチャレンジ！～ウズラの研究 3年目～」

○入選

【小学生】

芦原小学校 5年 中村光里

「まだまだ続くよ！アサガオ研究観察5年目！！」

芦原小学校 6年 加藤杏菜
「加藤家、庭の雑草全滅大作戦 2018」

中野小学校 5年 大竹真菜
「蚊の研究 Part2」

磯辺小学校 5年 伊奈稜一郎
「続・ニホンイシガメの生態～卵をかえずぞ Part 1～」

牛川小学校 4年 樽谷咲華
「何分で手はシワシワになるのかな」

鷹丘小学校 4年 阿部茉莉
「微生物のたん生」

下条小学校 2年 菅沼朔陽
「ザリガニのかいてきな水そうをしらべよう」

向山小学校 5年 近藤志歩
「今年の猛暑！セミは暑さに強い？多いのはアブラゼミ？クマゼミ？」

高山小学校 6年 白井菜々
「なぜ尿の色は変わるのか」

【中学生】

豊岡中学校 1年 藤原 冨
「あなたの知らないキャベツの秘密」

東部中学校 2年 岡田誠太郎
「私の町の雑草の研究」

東部中学校 1年 斎藤穂乃香
「まつぼっくりの変化」

本郷中学校 1年 河合真佑
「まつぼっくりは何%の水を含めるか？」

南稜中学校 1年 石田小都
「チャートの観察～梅田川観察をしている時に見えたあの山・岩について～」

二川中学校 1年 菅沼大悟
「メダカの卵の観察 パートⅢ 汚れた水でもふ化できるのか？」



(9) 自由研究相談

開催期間：夏休み期間

内 容：事前申込みを受けた小・中学生を対象に担当分野の学芸員が自由研究のテーマや方法について指導

参加者：25件62人

(内訳)

分野	件数	人数
化石	7	15
岩石	6	17
昆虫	6	17
貝類	0	0
脊椎動物	2	4
その他	4	9
計	25	62

(10) 市民からの質問等対応

自然史博物館では、来館、電話、手紙、メールによる市民からの質問等について学芸員が対応している。平成30年度の内訳は以下のとおりである

分野	件数	備考
化石	14	
地質岩石	11	
昆虫	6	
貝類	8	
魚類	5	
脊椎動物	4	
植物	1	
その他	3	甲殻類、イソギンチャク、ヒラムシ、コケムシ、ダンゴムシ
計	52	

(11) 小中高等学校等の学習支援

1) 標本貸出セット

自然史博物館では、平成16年度より「標本貸出セット」を整備し、学校等への貸出を行っている。内容は、以下の5つで、それぞれラベルや解説などの資料も添付している。館外貸出は原則、市内小中学校とし、館内での利用は子どもを主体とする1クラス程度までの団体としている。また、学芸員が行う出前授業などにも積極的に利用している。本年度の館外貸出は7団体473人、館内利用は7団体260人であった。

- 化石：古生代から新生代の化石（10セット）、化石レプリカ製作用型4種（20セット）
- 脊椎動物：肉食と草食動物の頭骨標本3種（10セット）、ネコ全身骨格標本（1セット）
- ドングリ：ブナ科植物6種のさく葉および堅果標本
- 昆虫：昆虫標本3種（5セット）、国語の教科書に登場する昆虫（3セット）
- 岩石：東三河地域の堆積岩10種（10セット）、豊川流域の岩石10種（5セット）

標本貸出セット実績① 館外貸出

期日	利用者	内容	人数
5/7～5/11	中野小学校	頭骨標本（3種）、ネコ全身骨格	71
9/20～9/26	吉田方小学校	頭骨標本（3種）	34
10/14～10/30	植田小学校	豊川流域の岩石類（10種）	60
11/5～11/9	栄小学校	豊川流域の岩石類（10種）	143
1/25～2/1	豊小学校	化石標本（古生代から新生代の化石）、化石レプリカ製作用型	24
1/11～1/18	岩田小学校	化石標本（古生代から新生代の化石）	115
3/11～3/15	田原市立伊良湖中学校	化石標本（古生代から新生代の化石）、化石レプリカ製作用型	26

標本貸出セット実績② 館内利用（出前授業など学芸員が館外で解説に使用したものも含む）

期日	利用者	内容	人数
6/24	ジオツアー①豊川の石はどこから	豊川地域の岩石類（10種）	16
7/24	名古屋芸術大学（講義）	頭骨（3種）	50
7/31	豊橋東高校（部活動）	頭骨（3種）	12
9/9	下地小学校（出前授業）	頭骨（3種）	50
10/2	杉山小学校（出前授業）	頭骨（3種）	65
1/23	天伯小学校（出前授業）	頭骨（3種）	23
2/17	ギャラリートーク「こんな石がある」	豊川地域の岩石類（10種）	22
2/17	ギャラリートーク「こんな石がある」	東三河地域の堆積岩類	22

2) 職場体験学習等

中学校2年生を対象に行われる職業体験学習として17校から17人を受入れた。博物館の業務概要の説明、施設等を見学した後、各学芸員が博物館資料の整理、展示作業、教育普及活動、印刷物の発送などの作業を体験させている。

また、特別企画展会期中のボランティア体験、実習活動として桜丘学園（中・高）生物部52人、愛知県立豊丘高校自然科学同好会15人を受入れた。

期間	学校名	人数
5/29～6/1	豊橋市立二川中学校	1
5/30～6/1	豊川市立南部中学校	1
6/6～6/8	豊川市立御津中学校	1
6/6～6/8	豊橋市立五並中学校	1
10/16～10/19	豊橋市中部中学校	1
10/16～10/19	豊橋市立高師台中学校	1
10/16～10/19	豊橋市立豊城中学校	1
10/30～11/2	豊橋市立本郷中学校	1
10/30～11/2	豊橋市立南部中学校	1
11/6～11/9	豊橋市立羽田中学校	1
11/13～11/15	豊橋市立東陽中学校	1
11/13～11/16	豊橋市立吉田方中学校	1
11/14～11/16	豊川市立小坂井中学校	1
11/14～11/17	豊橋市立東部中学校	1
12/4～12/7	豊橋市立豊岡中学校	1
12/4～12/7	豊橋市立東陵中学校	1
12/4～12/7	豊橋市立牟呂中学校	1
7/14～9/3	桜丘学園（中・高） 生物部	52
7/14～9/3	愛知県立豊丘高校自然 科学同好会	15

3) わくわく体験活動

市内の小・中学校が、教育委員会の計画に基づいて行っている学習（小学校4年生対象）の一環で、当館の見学が選択として取り入れられている。見学にあたっては、各学校で計画をたて、学習の観点をもって実施している。常設展見学のほか、希望により大型映像、特別企画展の観覧、収蔵庫・標本処理室等の学芸員による案内も行っている。

- ・参加校数：1校（豊橋市立老津小学校）
- ・参加児童数：37人

4) 高等学校・大学の学習利用

①愛知県高等学校文化連盟自然科学専門部

期 日：平成30年8月3日（金）

利用者：生徒・教員66人

内 容：常設展、特別企画展の見学

②スーパーサイエンスハイスクール連携講座

期 日：平成30年8月8日（水）

利用者：名古屋市立向陽高等学校

生徒・教員9人

内 容：脊椎動物の骨格に関する講義、常設展、特別企画展の見学

③専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

期 日：平成30年10月18日（木）

平成30年10月25日（木）

利用者：動物海洋飼育・アクアリウム科1年生徒・引率42人（各日21人）

内 容：博物館の見学、骨格標本、進化に関する講義

5) 校外学習等

①夏休み中学生英語活動 “I Love Toyohashi English Camp”

期 日：平成30年7月24日（火）

平成30年8月21日（火）

内 容：自然史博物館や動植物公園内をALTと散策して、英会話を楽しむ

んだり、英語でクイズを作ったりして英語に親しむ。

参加者：144人（各日72人）

②三遠南信中学生交流会

期 日：平成30年8月7日（水）
内 容：班別分散学習で自然を学ぶ
参加者：170人

③二川地域文化体験講座

期 日：平成30年9月15日（土）
内 容：大地をつくる石についての講義
参加者：二川中学校生徒 22人

6) 授業・学習支援センターへの協力

子どもたちの調べ学習や教師の授業づくりをサポートするために市教育委員会学校教育課が設置している「授業・学習支援センター」の活動に協力した。自然史博物館内にも、自然科学関連の書籍が充実した図書コーナー「山福文庫」が設置されている。配架図書の選定、利用促進、運営については図書館研究部、理科研究部、学校図書館指導員、当館事務長らによる推進委員会で協議した。

(12) 博物館実習生等の受入れ

1) 平成30年度博物館実習

①実習生（10人）

- 村上美里華さん（桜美林大学）
- 伊東芽以さん（三重大学）
- 清水美咲さん（高知大学）
- 藤林和芳さん（名城大学）
- 小林弥生さん（愛知教育大学）
- 田村佳那さん（八重洲学園大学）
- 高阪匡人さん（愛知学院大学）
- 今井菜々さん（帯広畜産大学）
- 大谷麗子さん（東京農業大学）
- 鈴木那加さん（岡山理科大学）

②実習内容・日程

期日	内容
7/27	自然史博物館概要、管理・運営、館内見学、特別企画展見学
7/28	特別企画展、ボランティアガイドツアー補助、ワークショップ補助
7/29	特別企画展、ボランティアガイドツアー補助、ワークショップ補助
7/31	脊椎動物資料実習、植物化石資料実習
8/1	昆虫資料実習、鉱物資料実習
8/2	ワークショップ補助
8/3	貝類資料実習、動物化石資料実習、実習まとめ

2) 大学の博物館学関連実習等

①名城大学

期 日：平成30年8月7日（火）
内 容：博物館見学実習
参加者：47人

②東海大学海洋学部

期 日：平成30年10月31日（水）
内 容：博物館見学実習
参加者：18人

(13) 研修等の受入れ

1) 現職教員の研修等

①氏 名：若林有子さん

所 属：愛知県立豊川特別支援学校
内 容：社会体験研修
期 間：平成30年7月26日（木）

②氏 名：八田和久さん

所 属：豊橋市立多米小学校
内 容：中堅（11年目）教員研修
（社会体験研修）

期 日：平成30年8月8日（水）～

平成 30 年 8 月 9 日 (木)

- ③氏 名：松井浩子さん
所 属：田原市立田原東部小学校
内 容：異校種・社会体験研修
期 間：平成 30 年 8 月 13 日 (月) ~
平成 30 年 8 月 15 日 (水)

- ④氏 名：青山 拓さん
所 属：山口県立山口博物館
(長期研修教員)
内 容：博物館学校地域連携教育支援事業
に係る研修訪問
期 日：平成 30 年 12 月 20 日 (木)

2) インターンシップ

- ①氏 名：河合美佳さん
所 属：南山大学法学部 3 年
期 間：平成 30 年 8 月 3 日 (金) ~
平成 30 年 8 月 13 日 (月)
- ②氏 名：夏目里美さん
所 属：愛知淑徳大学人間情報学部 2 年
期 間：平成 30 年 8 月 13 日 (月) ~
平成 30 年 8 月 23 日 (木)
- ③氏 名：小野田優里さん
所 属：筑波大学情報学群 3 年
期 間：平成 30 年 8 月 13 日 (月) ~
平成 30 年 8 月 23 日 (木)
- ④氏 名：伊藤奨馬さん
所 属：豊橋創造大学経営学部 2 年
期 間：平成 30 年 8 月 23 日 (木) ~
平成 30 年 9 月 2 日 (日)

3) 教員研修等

- ①東三河教育事務所管内小中学校校長会議
期 日：平成 30 年 4 月 10 日 (火)
参加者：190 人

- ②平成 30 年度豊橋市教員免許状更新講習
期 日：平成 30 年 7 月 25 日 (水)
参加者：81 人
内 容：「自然史博物館にある教育資源」
「生物多様性を理解するために」
「自然史博物館常設展を利用した
地球の歴史の授業」

- ③5 ブロック夏季合同研修会
期 日：平成 30 年 8 月 2 日 (木)
参加者：22 人
内 容：常設展、特別企画展の見学

- ④5 ブロック PTA 研修会
期 日：平成 30 年 8 月 18 日 (土)
参加者：43 人
内 容：常設展、特別企画展の見学

- ⑤6 ブロック夏季合同研修会
期 日：平成 30 年 8 月 23 日 (木)
参加者：125 人
内 容：常設展、特別企画展等の見学

- ⑥小学校生活科研究部研究大会
期 日：平成 30 年 12 月 19 日 (水)
参加者：65 人
内 容：市内小中学校生活科研究部員によ
る研究協議

4) その他

- ①岐阜県博物館友の会
期 日：平成 30 年 6 月 3 日 (日)
参加者：40 人
内 容：常設展、バックヤードの見学
- ②豊橋市学校用務員スズメバチ講習会
期 日：平成 30 年 6 月 15 日 (金)
参加者：15 人
内 容：スズメバチ類の分類と生態につい
て

- ③特定非営利活動法人 東海自然学園
期 日：平成 30 年 6 月 26 日（火）
参加者：30 人
内 容：2018 年度地学実習、館内の見学
等

- ④こども未来政策課 三河材おもちゃづくり
ワークショップイベント
期 日：平成 31 年 3 月 16 日（土）
参加者：8 組 17 人
内 容：積み木の題材となる恐竜の解説

(14) 出版活動

平成 30 年度に自然史博物館が刊行した出版物は以下のとおりである。

書名・名称	版・頁	部数	発行年月日	配布先	内容等
豊橋市自然史博物館年報第 30 号	A4 66 頁	-	30. 6. 30	ホームページ PDF 公開	年間活動報告
豊橋市自然史博物館研究報告 第 29 号 (ISSN 0917-1703)	A4 35 頁	600	31. 3. 23	関係機関	研究報告・論文
豊橋市自然史博物館資料集第 26 号「化石Ⅲ 黒田啓介氏寄贈更 新統植物化石標本目録」(ISSN 0919-1526)	A4 39 頁	600	31. 3. 26	関係機関	収蔵標本目録
見学ワークシート「生きものの 歴史をさぐる③新生代」改訂版	A4 二つ 折り	30,000	31. 3. 20	一般	子ども用見学ワ ークシート
見学ワークシート「生きものの 歴史をさぐる④郷土の自然」	A4 二つ 折り	30,000	31. 3. 20	一般	子ども用見学ワ ークシート

(15) 連携・共催事業等

1) 名古屋芸術大学との連携事業

平成 26 年度に名古屋芸術大学と締結した
連携協定に基づき、平成 30 年度は下記の連
携事業を行った。

①開館 30 周年記念式典での演奏

期 日：平成 30 年 5 月 2 日（水）
会 場：自然史スクエア
内 容：ピアノ・電子オルガン等奏者 6 名
による演奏

②音楽学部学生によるミュージアムコンサート

1 回目
期 日：平成 30 年 5 月 2 日（水）
会 場：自然史スクエア
内 容：6 名の奏者によるピアノやトーン

チャイム等の演奏会

参加者：157 名
2 回目
期 日：平成 30 年 7 月 21 日（土）
会 場：自然史スクエア
内 容：6 名の奏者による歌とギター等の
演奏会
参加者：171 名

③特別企画展 PR 用展示模型制作・展示

展示期間：平成 30 年 7 月 6 日（金）～
8 月 29 日（水）
場 所：豊橋駅東西連絡通路
内 容：加藤真浩さんと塚本将慈さん制作
のティラノサウルスのオブジェを
展示

- ④特別企画展示室内壁面デザイン制作
 展示期間：平成30年7月13日（金）～
 9月2日（日）
 内 容：デザイン領域メディアコミュニケーションデザインコースの学生5
 名が恐竜ロボット背後の壁面4箇
 所のオリジナルデザインを制作

- ⑤博物館職員による講義・講演
 期 日：平成30年7月24日（火）
 場 所：名古屋芸術大学
 講 師：安井謙介
 内 容：自然科学系教養科目での講義

- 2) あいちサイエンス・コミュニケーション・
 ネットワーク
 主催：国立大学法人名古屋大学 学術研究・
 産学官連携推進本部
 ※東海地方の大学、研究機関、博物館
 28 機関が参加（2019年3月現在）

- ①夏休みあいちサイエンスフェスティバル
 2018
 期 間：平成30年7月21日（土）～9月
 2日（日）
 内 容：期間中の自然史博物館行事を参加
 イベントとして登録。

- ②あいちサイエンスフェスティバル 2018
 期 間：平成30年9月22日（土）～11月
 25日（日）
 内 容：期間中の自然史博物館行事を参加
 イベントとして登録

- ③「名古屋大学出前授業 in 豊橋」の開催
 （科学教育センターと共同開催）
 ※内容は別掲（P.24）

3) 二川地区連携事業

「謎解き フタガワ CODE」

二川地区にある5つの博物館等施設にお
 いて昨年につき「謎解き フタガワ CODE」
 を実施した。

開催期間：平成30年11月3日（土・祝）～
 平成31年3月17日（日）113日
 間

内 容：チラシの裏面にある5つの謎を解
 いて導き出された場所に行き、設
 置されたQRコード*から新たな
 謎を解く。正解すると、ふだんは
 体験できない「選べるプレミアム
 イベント」や招待券のプレゼント
 に応募できる。

参 加 者：1,906人（チラシ配布数、pdfフ
 ァイルダウンロード数を含む）

プレゼント応募数

（プレミアムイベント当選数は各施設2組）

プレゼント	応募数
自然史博物館大型映像招待券（総 合動植物公園入園券付）5組10人	28
二川宿本陣資料館招待券5組10人	3
総合動植物公園 「動物の素顔にふれる特別ガイド」	17
自然史博物館 「化石プレゼント付博物館特別ガ イド」	8
二川宿本陣資料館 「本陣上段の間に座って記念撮影」	12
商家「駒屋」 「駒屋グッズプレゼント付特別ガ イド」	4
視聴覚教育センター・地下資源館 「生まれた日の星空を特別投映」	6
計	78

（※QRコードは㈱デンソーウェブの登録商標です。）

アンケート集計結果（回収数 78）

項目	人数	構成比%	
住所	市内	44	56.4
	県内	27	34.6
	県外	7	9.0
	計	78	100
性別	男	41	52.6
	女	37	47.4
	計	78	100
年齢	～9歳	9	11.5
	10代	8	10.3
	20代	6	7.7
	30代	15	19.2
	40代	24	30.8
	50代	5	6.4
	60代	7	9.0
	70代～	4	5.1
	計	78	100

4) AEL ネット環境学習スタンプラリー

主 催：愛知県環境学習施設等連絡協議会

開催期間：平成 30 年 6 月 22 日（金）～平成
31 年 2 月 28 日（木）

内 容：来館者がスタンプを押すスタンプ
ラリーを実施。

5) 東三河野鳥同好会講演会「氷河期の生き
残りライチョウー人工繁殖プロジェクトー」

講 師：山本茂行さん（富山市ファミリー
パーク名誉園長）

期 日：平成 31 年 1 月 6 日（日）

参加者：77 人

内 容：ライチョウの現状と人工繁殖事業
について紹介。

(16) 講師・委員の派遣等

1) 出前授業

学校名	学年	人数	タイトル	時限数	実施日	担当 学芸員
桜丘中学校	1	71	昆虫のからだとつくり・野外観察	2	5/3	長谷川
湖西市立知波田 小学校	3	32	昆虫のからだとつくり・身近な昆虫の 観察	2	6/5	長谷川
田原市立大草小 学校	4	16	大草海岸を探検しよう～大草海岸でビ ーチコーミング～	3	6/7	西
幸小学校	3	148	昆虫のからだとつくり	4	6/8	長谷川
高根小学校	5	39	おさかな入門（メダカについて）	1	6/13	坂本
桜丘中学校	1	71	絶滅の恐れがある愛知県（豊橋）の動 物（自然環境問題）	2	6/14	長谷川
福岡小学校	5	98	メダカの雄と雌の見分け方	3	6/15	坂本
栄小学校	2	114	ザリガニのおはなし	1	7/3	坂本
高根小学校	3	46	昆虫のからだとつくり・身近な昆虫の 観察	3	7/12	長谷川
大村小学校	1	29	夏の生き物ゲットだぜ！～かくれても みつけちゃうもんね～	2	8/23	坂本
下地小学校	4	50	動物のからだのつくりとはたらき	2	9/19	安井
牛川小学校	1	93	身近な昆虫の観察	1	9/26	長谷川
杉山小学校	1・2	95	どんぐりのなる木	1	9/27	長谷川
杉山小学校	4	65	動物のからだのつくりとはたらき	2	10/2	安井
下地小学校	1	42	身近な昆虫の観察	2	10/3	長谷川
下地小学校	6	48	大地のしましまをさぐる	2	10/19	吉川
栄小学校	5	70	かわらの石のはなし	2	11/6	加藤
栄小学校	5	71	かわらの石のはなし	2	11/8	加藤
前芝中学校	2	35	イカのからだを調べよう	1	11/9	西
幸小学校	6	144	大地のしましまをさぐる	4	11/21	吉川
石巻小学校	4	24	石巻山探検隊～石巻山に住むマイマイ について調べよう～	3	12/20	西
石巻小学校	4	24	石巻山探検隊～石巻山に住むマイマイ について調べよう～	3	1/18	西
天伯小学校	4	51	ヒトの体のつくりとはたらき	2	1/23	安井
岡崎市立三島小 学校	4	55	身近な昆虫の観察	2	1/23	長谷川
合 計		1,531		52		

2) 講演等への講師の派遣

①デンソー次世代環境教育

講師：西 浩孝

期 日：平成 30 年 5 月 12 日（土）

会 場：自然史博物館講堂

内 容：絶滅危惧種についての講演

参加者：121 人

②豊川市立南部中学「スタディ・ザ・ライフ」

講師：坂本博一

期 日：平成 30 年 5 月 19 日（土）

会 場：豊川市立南部中学校

内 容：自然史博物館の仕事

参加者：37 人

③京都市青少年科学センター小学校理科指導講座

講師：長谷川道明

期 日：平成 30 年 5 月 20 日（日）

会 場：自然史博物館・葦毛湿原

内 容：葦毛湿原の動植物からわかること

参加者：15 人

④豊橋市立西郷小学校ホタル観察会

講師：長谷川道明

期 日：平成 30 年 5 月 30 日（水）

会 場：西川芸能練習場ほか

内 容：ホタルに関する講演と観察指導

参加者：63 人

⑤嵩山校区社会教育委員会講演会

講師：松岡敬二

期 日：平成 30 年 6 月 2 日（土）

会 場：嵩山校区市民館ほか

内 容：嵩山校区の自然

参加者：50 人

⑥渥美半島環境活動協議会 CAEA

講師：松岡敬二

期 日：平成 30 年 6 月 16 日（土）

会 場：田原中部市民館

内 容：渥美半島から消えた生きものたち

参加者：50 人

⑦豊川市赤塚山公園自然観察会

講師：西 浩孝

期 日：平成 30 年 6 月 17 日（日）

会 場：豊川市赤塚山公園

内 容：カタツムリの観察

参加者：18 人

⑧豊橋だいすきカレッジ

講師：松岡敬二

期 日：平成 30 年 7 月 11 日（水）

会 場：穂の国とよはし芸術劇場プラット

内 容：「ぶらタモリ」的にみた豊橋

参加者：10 人

⑨名古屋芸術大学

講師：安井謙介

期 日：平成 30 年 7 月 24 日（火）

会 場：名古屋芸術大学

内 容：小学校「理科」における自然史博物館の利用

参加者：50 人

⑩愛知県立豊橋東高等学校

講師：加藤千茶子

期 日：平成 30 年 7 月 31 日（火）

会 場：豊橋市、新城市

内 容：豊川の河原の石の観察

参加者：12 人

⑪豊橋市立小中学校 3 ブロック夏季合同研修会

講師：西 浩孝

期 日：平成 30 年 8 月 2 日（木）

会 場：北部学校給食共同調理場

内 容：石巻山とその周辺の自然について

参加者：84 人

⑫豊川コロナシネマワールド講演会

- 講 師：松岡敬二
期 日：平成 30 年 8 月 4 日（土）
内 容：ジュラシック体験入門
会 場：豊川コロナシネマワールド
参加者：30 人
- ⑬京都市総合教育センター自然体験活動宿泊
研修
講 師：長谷川道明
期 日：平成 30 年 8 月 8 日（水）
会 場：葦毛湿原ほか
内 容：葦毛湿原の動植物と湿原復元事業
参加者：36 人
- ⑭夏休みおもしろ実験・観察教室 in しんしろ
講 師：加藤千茶子・吉川博章
期 日：平成 30 年 8 月 9 日（木）
会 場：新城市ちさと館
内 容：2 億年前の地球儀を作ろう
参加者：新城市内小中学生と保護者 300 人
- ⑮岐阜県立多治見北高等学校
講 師：西 浩孝
期 日：平成 30 年 8 月 11 日（土）
会 場：汐川干潟ほか
内 容：生物多様性に関する講義と汐川干
潟での野外実習
参加者：31 人
- ⑯豊川流域圏づくり協議会
講 師：松岡敬二
期 日：平成 30 年 10 月 8 日（月・祝）
会 場：六条潟、牟呂用水
内 容：豊川流域圏を知る上下流域体感ツ
アー
参加者：40 人
- ⑰豊橋商工会議所秋のビジネスパーク 2018
講 師：長谷川道明
期 日：平成 30 年 11 月 14 日（水）
会 場：豊橋市立豊岡中学校
- 内 容：自然史博物館の仕事
参加者：25 人
- ⑱渥美半島環境活動協議会
講 師：松岡敬二
期 日：平成 30 年 12 月 15 日（土）
会 場：田原文化会館
内 容：平成 30 年度渥美半島環境活動協
議会フォーラム
参加者：30 人
- ⑲教員のための博物館の日 in 愛知教育大学
講 師：長谷川道明・丹羽美春
期 日：平成 31 年 1 月 13 日（日）
会 場：愛知教育大学（日本生物教育学会
大会 103 回全国大会）
内 容：2 億年前の地球儀を作ろう
シロアリの道しるべフェロモン
セミの抜け殻分解標本
- ⑳日本古生物学会第 168 回例会
講 師：松岡敬二
期 日：平成 31 年 1 月 25 日（金）
会 場：神奈川県立生命の星・地球博物館
内 容：シンポジウム「絶滅生物が生きて
いた当時の姿を復元するための挑
戦と課題～現在は過去を解く鍵
～」
参加者：194 人
- ㉑戸次祥子展「こんな石を見た」ギャラリー
トーク
講 師：加藤千茶子
期 日：平成 31 年 2 月 17 日（日）
会 場：ギャラリーサンセリテ
内 容：東三河の石を紹介
参加者：22 人
- ㉒愛知県博物館協会部門別研修会
講 師：一田昌宏
期 日：平成 31 年 3 月 13 日（水）

会 場：トヨタ産業技術記念館
内 容：企画展に絡めた大規模収蔵庫整理
—重量パレットラック導入による
大型標本の立体的収蔵—
参加者：41人

3) 委員等の委嘱、派遣

①授業・学習支援センター推進委員会

委 員：仲井慎治
期 日：平成 30 年 5 月 11 日（金）
平成 30 年 6 月 19 日（火）
平成 31 年 1 月 18 日（金）

②科学教育推進委員会

委 員：吉川博章
期 日：平成 30 年 5 月 16 日（水）
平成 30 年 9 月 5 日（水）
平成 30 年 11 月 28 日（水）

③瑞浪市化石博物館協議会

委 員：松岡敬二
期 日：平成 30 年 6 月 13 日（水）
平成 30 年 10 月 17 日（水）

④あいちサイエンスフェスティバル実行委員会

委 員：長谷川道明・丹羽美春
期 日：平成 30 年 6 月 7 日（木）
平成 31 年 3 月 1 日（金）

4. 学会等の開催

(1) 全国科学博物館協議会総会・研究発表大会

全国科学博物館協議会平成 30 年度第 2 回
理事会・総会及び第 26 回研究発表大会を
下記の内容で開催した。

開催期間：平成 31 年 2 月 14 日（木）～15 日
（金）

内 容：口頭発表（21 件）、ポスター発表（6
件）（大会出席者 116 名）



5. 調査研究活動

(1) 学芸員の研究業績等

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

松岡敬二 (館長：古生物)

調査研究の主なテーマ

- ・東アジアの生物相の発達史
- ・博物館学の研究史

平成 30 年度の調査研究テーマ

- ・日本の非海生生物化石
- ・博物館展示物展示方法

1) 論文

- ① Matsuoka, K. and Miura, O., 2019. Four new species of the genus *Semisulcospira* (Mollusca: Caenogastropoda: Semisulcospiridae) from the Plio-Pleistocene Kobiwako Group, Mie and Shiga Prefectures, central Japan. *Bulletin of the Mizunami Fossil Museum*, (45) : 87-94.
- ②松岡敬二, 2019. 名古屋地学会第 324 回例会報告－大崩海岸の枕状溶岩と御前崎の相良層群－. *名古屋地学*, (81) : 29-30.
- ③楠 健司・延原尊美・太田未来・松岡敬二・西 浩孝, 2019. 2007 年における愛知県豊川下流域のシジミ属 (ヤマトシジミ, マシジミ, タイワンシジミ) の分布と同一環境における殻形態の比較. *豊橋市自然史博物館研究報告*, (29) : 5-12.
- ④坂本博一・西 浩孝・松岡敬二, 2019. 豊橋市の上庄池と大口池で確認された淡水動物. *豊橋市自然史博物館研究報告*, (29) : 13-20.
- ⑤西 浩孝・松岡敬二, 2019. 蒲郡市でヒダリマキマイマイ (ナンバンマイマイ科) を確認. *豊橋市自然史博物館研究報告*, (29) : 21-22.

2) 学会等発表

- ①松岡敬二, 2018. 震災と郷土かるた. 日本郷土かるた協会推進事例発表会, 2018 年 5 月 26 日, 奥野かるた店, 東京.

- ③松岡敬二, 2019. シンポジウム「絶滅生物が生きていた当時の姿を復元するための挑戦と課題 ～現在は過去を解く鍵～」コメント. 日本古生物学会第 168 回例会, 2019 年 1 月 25 日, 神奈川県立生命の星・地球博物館 (小田原市).

3) 普及書など

- ①松岡敬二, 2018. 震災と郷土かるた. 会誌郷土かるた (日本郷土かるた協会), (17) : 2-4.
- ②松岡敬二, 2018. 郷土玩具とカルタ. 郷土玩具私の逸品 第 13 回. (12/4). 東日新聞.
- ③松岡敬二, 2019. 9 章 展示と社会 (担当編集員). 学校教育との連携①理科 420-421, 地域からの発信 430-431, 忘れられた展示 462-463., 施設②自然史系博物館 64-65. 付録①展示 100 選 (オーストラリア博物館, 北海道博物館). In: 日本展示学会 (編), 『展示学事典』, 丸善出版.

坂本博一 (主幹学芸員：魚類)

調査研究の主なテーマ

- ・三河地方の魚類相

平成 30 年度の調査研究テーマ

- ・豊橋市内の外来魚
- ・豊橋市内ため池における魚類生息状況
- ・資料集「魚類 I」
- ・愛知県近海産の深海性魚類
- ・東三河沿岸における魚類仔稚魚の食性

1) 論文

- ①坂本博一・西 浩孝・松岡敬二, 2019. 豊橋市の上庄池と大口池で確認された淡水動物. *豊橋市自然史博物館研究報告*, (29) : 13-20.

2) 学会発表

なし

3) 普及書など

なし

長谷川道明（学芸専門員：昆虫）

調査研究の主テーマ

- ・日本産カミキリムシの種分化と系統
- ・東海地方の昆虫相

平成 30 年度の調査研究テーマ

- ・南アルプスで得られた *Sybra* 属の不明種
- ・トカラ列島産の *Egesina* 属について
- ・愛知県の甲虫類のインベントリーに関する研究
- ・東海地方のレッドデータ種に関する研究

1) 論文

- ①佐々木恵一・細川浩司・長谷川道明, 2018. 北海道から発見された日本初記録のキタミトホシカミキリ. *SAYABANE, n.s.*, (31): 19-21.
- ②戸田尚希・長谷川道明・蟹江 昇, 2019. 愛知県の甲虫目録 3 (オサムシ科: ハンミョウ亜科). 佳香蝶, (277): 1-11.
- ③長谷川道明・戸田尚希・蟹江 昇, 2019. 愛知県の甲虫目録 4 愛知県のアオハムシダマシ類. 豊橋市自然史博物館研究報告, (29): 27-32.

2) 学会発表

なし

3) 普及書など

なし

加藤千茶子（主任学芸員：岩石・鉱物）

調査研究の主テーマ

- ・郷土の鉱物岩石相

主任学芸員：岩石・鉱物

- ・豊川流域の岩石分布について
- ・東三河地域のジオパーク構想について
- ・高校と連携したジオパーク教育プログラムの開発
- ・坂津寺貝塚より出土する炉石について

1) 論文

なし

2) 学会発表

- ①加藤千茶子・加藤貞亨, 2018. 東三河地域

におけるジオガイド養成への取り組み. 第 9 回日本ジオパーク全国大会. 2018 年 10 月 7 日. (様似町).

- ②一田昌宏・加藤千茶子・吉川博章・安井謙介, 2019. 豊橋市自然史博物館における標本作成作業展示と連携する化石を用いたアウトリーチ活動. 日本古生物学会第 168 回例会, 2019 年 1 月 25 ~ 27 日, 神奈川県立生命の星・地球博物館 (小田原市).

3) 普及書など

なし

吉川博章（主任学芸員：古生物）

調査研究の主テーマ

- ・新生代植物化石と堆積相解析による環境復元
- ・植物化石のタフオノミー的研究

平成 30 年度の調査研究テーマ

- ・常滑市の鮮新統大谷火山灰層中の埋没木化石
- ・豊橋市大岩町の更新統産植物化石
- ・黒田啓介氏寄贈植物化石コレクション (資料集)
- ・辻富夫氏寄贈の中新統平牧層産植物化石

1) 論文

- ①吉川博章, 2019. 化石Ⅲ 黒田啓介氏寄贈植物化石コレクション. 豊橋市自然史博物館資料集, (26): 1-39.

2) 学会発表

- ①吉川博章, 2018. 豊橋市自然史博物館所蔵の黒田啓介更新世植物化石コレクション. 第 33 回日本植生史学会大会, 2018 年 11 月 10 ~ 11 日, 滋賀県立琵琶湖博物館 (草津市).
- ②長森英明・吉川博章, 2019. 鮮新世のハマグリ属の分布と形態. 古生物学会第 168 回例会, 2019 年 1 月 25 ~ 27 日, 神奈川県立生命の星・地球博物館 (小田原市).
- ③一田昌宏・加藤千茶子・吉川博章・安井謙介, 2019. 豊橋市自然史博物館における標

本作成作業展示と連携する化石を用いたアウトリーチ活動。日本古生物学会第168回例会，2019年1月25～27日，神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）。

3) 普及書など

- ①吉川博章，2018. 豊橋市自然史博物館～東海地方最大級の自然史系博物館～. 理科教室，61（10）：86-87.
- ②吉川博章，2019. エドモントサウルス・アネクテンスの実物化石. 子とともに ゆうゆう，（762）：66.

安井謙介（主任学芸員：脊椎動物）

調査研究の主テーマ

- ・日本列島の哺乳動物相の変遷史
- ・豊橋周辺の遺跡産出動物遺体の動物考古学的研究
- ・現生脊椎動物の比較形態学的研究
- ・豊橋市を中心とした東三河地方の現生脊椎動物相
- ・展示・教育普及活動のオリジナルプログラム開発
- ・脊椎動物分野における収蔵資料の活用

平成30年度の調査研究テーマ

- ・愛媛県沖海底産脊椎動物化石について
- ・豊橋市内各遺跡から産出したウマ遺体について
- ・蜆塚貝塚産出の動物遺体について
- ・伊川津貝塚産出の犬骨について
- ・ミズナギドリ類の比較骨学的研究
- ・渥美半島にストランディングする脊椎動物に関する基礎的調査
- ・東三河の陸生脊椎動物の生息状況について
- ・名古屋芸術大学との連携プログラム開発に関する調査・研究
- ・収蔵骨格標本の外部研究者による活用促進について

1) 論文

- ①東條文治・安井謙介・加藤真浩，2019. 名古屋芸術大学と豊橋市自然史博物館による

5年間の連携事業について. 名古屋芸術大学研究紀要，40：109-116.

2) 学会発表

- ①安井謙介・木谷良平・一田昌宏，2018. 豊橋市自然史博物館及び豊橋総合動植物公園所蔵の現生哺乳類及び鳥類の骨格標本について. ポスター発表. 日本古生物学会2018年年会. 6月22～24日，東北大学（仙台市）.
- ②一田昌宏・加藤千茶子・吉川博章・安井謙介，2019. 豊橋市自然史博物館における標本作製作業展示と連携する化石を用いたアウトリーチ活動. 日本古生物学会2019年例会，2019年1月25～27日，神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）.

3) 普及書など

- ①安井謙介，2018. 大物は突然に…。豊橋市自然史博物館ボランティア通信ぷしっこ，（25）：3.
- ②安井謙介，2018. 或る博物館学芸員のたわい無い話（41）「あれから30年、そしてこの先も」。このはずく（東三河野鳥同好会会報），（517）：5.
- ③安井謙介，2018. 或る博物館学芸員のたわい無い話（42）「誰が買うの!？」。このはずく（東三河野鳥同好会会報），（518）：5.
- ④安井謙介，2018. 或る博物館学芸員のたわい無い話（43）「ポーズが悩ましい」。このはずく（東三河野鳥同好会会報），（519）：5.
- ⑤安井謙介，2018. 或る博物館学芸員のたわい無い話（44）「夏のイベント」。このはずく（東三河野鳥同好会会報），（520）：5.
- ⑥安井謙介，2018. 或る博物館学芸員のたわい無い話（45）「博物館の夏の風物詩」。このはずく（東三河野鳥同好会会報），（521）：5.
- ⑦安井謙介，2018. 或る博物館学芸員のたわい無い話（46）「ブラジルの悲劇」。このはずく（東三河野鳥同好会会報），（522）：5.
- ⑧安井謙介，2018. 或る博物館学芸員のたわ

- い無い話 (47)「大物、再び出現ス」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), (523): 5.
- ⑨安井謙介, 2018. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (48)「裾野を広げるために」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), (524): 5.
- ⑩安井謙介, 2019. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (49)「科博に行ってきました」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), (525): 5.
- ⑪安井謙介, 2019. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (50)「節目の回」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), (526): 5.
- ⑫安井謙介, 2019. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (51)「動物死体と法律」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), (527): 5.
- ⑬安井謙介, 2019. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (52)「手間と工夫」。このはずく (東三河野鳥同好会会報), (528): 5.

西 浩孝 (学芸員: 貝類)

調査研究の主テーマ

- ・陸産貝類の形態の多様化と系統分類
- ・東海地方の貝類相
- ・三河地方の無脊椎動物相

平成 30 年度の調査研究テーマ

- ・ニシキマイマイの殻形態変異と分子系統
- ・オモイガケナマイマイの形態変異
- ・宮崎県の陸産貝類相
- ・東海地方の干潟における希少貝類の生息状況
- ・愛知県のウミウシ相
- ・豊橋市周辺のため池における淡水生貝類の生息状況
- ・園内のホタルミミズの生息状況

1) 論文

- ①楠 賢司・延原尊美・太田未来・松岡敬二・西 浩孝, 2019. 2007 年における愛知県豊川下流域のシジミ属 (ヤマトシジミ, マ

シジミ, タイワンシジミ) の分布と同一環境における殻形態の比較. 豊橋市自然史博物館研究報告, (29): 5-12.

- ②坂本博一・西 浩孝・松岡敬二, 2019. 豊橋市の上庄池と大口池で確認された淡水動物. 豊橋市自然史博物館研究報告, (29): 13-20.
- ③西 浩孝・松岡敬二, 2019. 蒲郡市でヒダリマキマイマイ (ナンバンマイマイ科) を確認. 豊橋市自然史博物館研究報告, (29): 21-22.
- ④西 浩孝, 2019. 渥美半島表浜でツノメガニとナンヨウスナガニ (スナガニ科) を確認. 豊橋市自然史博物館研究報告, (29): 23-25.

2) 学会発表

なし

3) 普及書など

- ①早瀬善正・木村昭一・河辺訓受・矢橋 真・西 浩孝・守谷茂樹・岩田明久, 2018. 冠山山頂部周辺 (岐阜県側) の陸産貝類相. かきつばた, (43): 1-27.
- ②西 邦雄・西 浩孝, 2018. 宮崎県のカタツムリ. 自費出版, 149pp.
- ③柳澤静磨・西 浩孝, 2018. アオミオカタニシのうどんこ病、スス病での長期飼育について. 九州の貝, 90: 5-6.
- ④西 浩孝, 2018. 宮崎県南部におけるスナガイの新産地. 九州の貝, 90: 9-10.
- ⑤川瀬基弘・柏尾 翔・西 浩孝・鶴飼 普・大矢美紀, 2019. 佐久島の潮間帯で発見された後鰓類 - 佐久島 (筒島) のウミウシ類 -. 新編西尾市史研究, (5): 75-80, 口絵.

一田昌宏 (学芸員: 古生物)

調査研究の主テーマ

- ・飛騨外縁帯産出化石の古生物学的研究
- ・付加体及び付加体中の微化石に関する研究
- ・収蔵資料に関する研究
- ・教育普及プログラムに関する研究

平成 30 年度の調査研究テーマ

- ・一の谷より産出した掘足類の比較検討
- ・岐阜県不破郡垂井町の重力流起源の炭酸塩堆積物
- ・福井県越前町の重力流起源の炭酸塩堆積物
- ・弓張山地の付加体の再検討
- ・岐阜県金山産石灰岩及び化石のリスト化
- ・館蔵アンモナイト化石のリスト化
- ・開館30周年記念企画展ワークショップ

1) 論文

- ① Gengo Tanaka, Yukio Miyake, Teruo Ono, Aihua Yuan, Masahiro Ichida, Haruyoshi Maeda and Sylvie Crasquin, 2018. Early Permian (Cisuralian) ostracods from Japan: characteristic ostracod assemblage from a seamount of the Panthalassic Ocean. *Zootaxa* (4515), pp.67.
- ②一田昌宏・北川博道, 2019. 自然の博物館所蔵の遠藤隆次コレクションについて. 埼玉県立自然の博物館自然遺産調査 I 石灰岩地基礎調査報告書, p. 20-22.
- ③一田昌宏, 2019. 豊橋市自然史博物館の歩みと開館 30 周年記念関連行事. 博物館研究, 54 (1) : 26-29.

2) 学会発表

- ①一田昌宏・加藤千茶子・吉川博章・安井謙介, 2019. 豊橋市自然史博物館における標本作製業展示と連携する化石を用いたアウトリーチ活動. 日本古生物学会 2019 年例会, 2019 年 1 月 25 日～ 27 日, 神奈川県立生命の星・地球博物館 (小田原市).
- ②安井謙介・木内良平・一田昌宏, 2018. 豊橋市自然史博物館及び豊橋総合動植物公園所蔵の現生哺乳類及び鳥類骨格標本について. 日本古生物学会 2018 年年会, 2018 年 6 月 22 日～ 24 日, 東北大学 (仙台市).
- ③一田昌宏, 2018. 平成 30 年度愛知県博物館職員等研修会「新・文化財保護法とミュージアム」トークパネリスト, 平成 30 年度愛知県博物館職員等研修会「新・文化財

保護法とミュージアム」, 2018 年 12 月 18 日, 刈谷市歴史博物館 (刈谷市).

- ④一田昌宏, 2019. 企画展に絡めた大規模収蔵庫整理－重量パレットラック導入による大型標本の立体的収蔵－. 平成 30 年度愛知県博物館協会 部門別研修会 2「資料の収蔵について」, 2019 年 3 月 13 日, トヨタ産業技術記念館 (名古屋市).

3) 普及書など

なし

(2) 学会、研究会等への参加

- ①日本古生物学会 2018 年年会
期 日：平成 30 年 6 月 22 日 (金) ～ 6 月 24 日 (日)
場 所：東北大学
参加職員：安井謙介・一田昌宏
- ②全国博物館長会議
期 日：平成 30 年 7 月 4 日 (水)
場 所：文部科学省講堂
参加職員：仲井慎治
- ③日本植生史学会
期 日：平成 30 年 11 月 10 日 (土) ～ 11 月 11 日 (日)
場 所：滋賀県立琵琶湖博物館
参加職員：吉川博章
- ④日本古生物学会第 168 回例会
期 日：平成 31 年 1 月 25 日 (金) ～ 1 月 27 日 (日)
場 所：神奈川県立生命の星・地球博物館
参加職員：一田昌宏
- ⑤愛知県博物館協会部門別研修会
期 日：平成 31 年 3 月 13 日 (水)
場 所：トヨタ産業技術記念館
参加職員：西 浩孝

6. 資料の収集・保管活動

(1) 採集資料

採集年月日	場所	採集資料名	採集者	点数
《古生物》				
2018. 06. 05	愛知県新城市玖老勢 海老川	設楽層群産 貝・ウロ コ化石	吉川博章	3
《岩石・鉱物》				
2018. 10. 08	北海道様似郡様似町	かんらん岩 ほか	加藤千茶子	5
2018. 12. 23	愛知県新城市陸平鉛山	方鉛鉱	加藤千茶子	3
《貝類》				
2001. 12. 05	愛知県豊橋市大岩町 豊橋総合動 植物公園養生温室	アシヒダナメクジ	不明	1
2002. 05. 17	愛知県豊橋市	カワニナ	安井謙介	7
2002. 05. 25	愛知県豊橋市前芝町外浜	アサリ	吉川博章	1
2002. 07. 07	愛知県豊橋市前芝町外浜	海産貝類	井澤伸恵	21
2017. 11. 30	愛知県豊橋市岩田町 上庄池	淡水産貝類	西 浩孝 坂本博一 松岡敬二	24
2017. 12. 20	愛知県豊橋市三弥町 大口池	淡水産貝類	西 浩孝 坂本博一 松岡敬二	3
2018. 05. 17	愛知県豊川市市田町 赤塚山公園	陸産貝類	西 浩孝	6
2018. 06. 17	愛知県豊川市市田町 赤塚山公園	陸産貝類	西 浩孝	3
2018. 11. 28	愛知県豊橋市船渡町 鳶ノ巣池	淡水産・陸産貝類	西 浩孝 松岡敬二	16
2018. 12. 06	愛知県豊橋市東細谷町 西籠田池	陸産・淡水産貝類	西 浩孝 坂本博一 松岡敬二	18
《甲殻類》				
2017. 12. 20	愛知県豊橋市三弥町 大口池	アメリカザリガニ	西 浩孝	1
2018. 07. 17	静岡県新城市白須賀地先 白須賀 海岸	ミミエボシ (蔓脚類)	安井謙介	2
2018. 11. 28	愛知県豊橋市船渡町 鳶ノ巣池	アメリカザリガニ	西 浩孝	3
2018. 12. 06	愛知県豊橋市東細谷町 西籠田池	アメリカザリガニ	西 浩孝	1
《その他無脊椎動物》				
2017. 07. 26	愛知県豊橋市岩田町 利平池	オオマリコケムシ	松岡敬二	1
2017. 11. 30	愛知県豊橋市岩田町 上庄池	コケムシ	松岡敬二 坂本博一	3
2017. 12. 20	愛知県豊橋市三弥町 大口池	マツモトカイメン	松岡敬二	1
2018. 09. 14	愛知県豊橋市石巻町 石巻山 (豊 橋市石巻自然科学資料館)	扁形動物	西 浩孝	1
2018. 11. 28	愛知県豊橋市船渡町 鳶ノ巣池	コケムシ	松岡敬二	4

《魚類》				
2017. 11. 30	愛知県豊橋市岩田町 上庄池	オオクチバスほか	坂本博一	11
2018. 07. 25	愛知県豊橋市向山町 向山大池	ブルーギル	坂本博一	5
《哺乳類》				
2018. 07. 17	静岡県新城市白須賀地先 白須賀海岸	イチョウハクジラ	安井謙介	1
2018. 09. 27	愛知県豊橋市神野ふ頭町 三河港 神野ふ頭付近	マッコウクジラ	安井謙介	1

(2) 寄贈資料

資料名	寄贈者	受付年月日	点数
《古生物》			
掛川層群産化石 ほか（新生代及び古生代化石）	小笠原 満	2018. 05. 30	2,430
カジカエデ翼果化石	田中颯祐	2018. 08. 25	1
<i>Podozamites reinii</i> （ラインマキ）	合田隆久	2018. 12. 22	1
ナウマンゾウ右上顎臼歯	寺田義行	2019. 03. 17	1
《岩石・鉱物》			
胆石	池上 淳	2018. 04. 27	1
高師小僧 ほか	中野昭二、中野 広	2018. 05. 01	50
高師小僧 ほか	高津東一郎	2018. 05. 09	2
石筍	彦坂義孝	2018. 05. 11	1
国内産鉱物	丹羽健文	2018. 06. 24	23
砂鉄	岡本康司	2019. 01. 04	25
月長石、白雲母、鉄電気石	丹羽健文	2019. 02. 02	3
トパズ、白雲母、鉄電気石	権田恒雄	2019. 02. 02	3
《貝類》			
ウミウシ	西 浩孝	2018. 04. 01	2
陸産貝類	長谷川道明	2018. 04. 01	6
海産貝類	太田信隆	2018. 04. 01	1
ウキヅノガイ	吉川博章	2018. 04. 01	15
陸産貝類（石巻山、嵩山産）	西 浩孝	2018. 04. 01	205
陸産貝類（石巻山産）	安井謙介	2018. 04. 01	1
淡水産貝類（松阪市産）	西 浩孝	2018. 04. 01	48
汽水産貝類（汐川産）	西 浩孝	2018. 04. 01	49
アオイガイ	西 浩孝	2018. 04. 01	6
淡水産貝類（扶桑町産）	西 浩孝	2018. 04. 01	18

アゲマキ	稲田浩三	2018. 04. 24	2
海産貝類	西 浩孝	2018. 05. 01	7
海産貝類	西 浩孝	2018. 05. 22	21
海産貝類	増田 修	2018. 05. 29	2
スナガイ	西 浩孝	2018. 05. 30	1
海産貝類	西 浩孝	2018. 06. 14	22
海産貝類 (日間賀島産)	西 浩孝	2018. 06. 19	74
ヘソカドガイ	西 浩孝	2018. 07. 03	12
海産貝類 (田原市宇津江町産)	西 浩孝	2018. 07. 03	11
海産貝類 (西ノ浜産)	西 浩孝	2018. 07. 03	38
海産貝類 (蒲郡市産)	西 浩孝	2018. 07. 17	12
海産貝類	西 浩孝	2018. 07. 31	9
海産貝類	西 浩孝	2018. 08. 14	32
海産貝類	西 浩孝	2018. 08. 28	22
海産貝類	大村恵一	2018. 09. 01	12
海産貝類	西 浩孝	2018. 09. 11	2
アズキガイ	森田博文	2018. 11. 20	5
ヌマガイ	寺本匡寛	2018. 11. 22	1
カゲロウガイ	西岡愛香	2018. 11. 24	2
ウミウシ等	西 浩孝	2018. 11. 28	14
陸産貝類	小林信明	2018. 12. 22	5
海産貝類	西 浩孝	2018. 12. 27	16
海産貝類	西 浩孝	2019. 01. 08	23
海産貝類	西 浩孝	2019. 01. 20	3
海産貝類	西 浩孝	2019. 01. 22	26
海産貝類	西 浩孝	2019. 02. 05	11
海産貝類	西 浩孝	2019. 02. 19	22
ウミウシ	西 浩孝	2019. 03. 05	21
海産貝類	西 浩孝	2019. 03. 05	7
海産貝類	西 浩孝	2019. 03. 20	11
《甲殻類》			
ハマトビムシ ほか	西 浩孝	2018. 04. 01	9
甲殻類	竹島水族館	2018. 04. 03	4
甲殻類	西 浩孝	2018. 05. 01	15
カニ	西 浩孝	2018. 05. 22	7
海産甲殻類	西 浩孝	2018. 06. 19	4
海産甲殻類	佐藤大義	2018. 08. 17	1

カニ	西 浩孝	2018. 09. 11	1
カニ	西 浩孝	2018. 10. 02	2
スナガニ	西 浩孝	2018. 10. 26	6
カニ	西岡愛香	2018. 11. 24	2
海産甲殻類	西 浩孝	2018. 12. 11	2
甲殻類	西 浩孝	2019. 01. 23	2
《昆虫》			
ミンミンゼミ (ミカドミンミン)	植村好延	2018. 04. 17	4
<i>Notiothauma reedi</i> (ノテオタウマ)	植村好延	2018. 04. 18	7
世界のタガメ 17種	植村好延	2018. 04. 18	173
ウラナミジャノメ属 <i>megalomma</i> 群 9種2亜種	植村好延	2018. 04. 18	24
チョウ類標本	佐藤正義	2018. 11. 01	2,500
トンボ類標本	植村好延	2018. 11. 13	19
昆虫標本一式	葛谷 健	2019. 01. 29	6,976
昆虫標本一式	三浦重光	2019. 01. 29	5,956
<i>Phyllomimus klapperichi</i> (タイリククサキリモドキ)	寺本匡寛	2019. 01. 30	6
アメリカオオアカボシウスバ、ムカシタイマイ、ニューカレドニアタイマイ、コモンタイマイ	井上. A. 尚	2019. 02. 26	4
《その他無脊椎動物》			
淡水産無脊椎動物 (扶桑町産)	西 浩孝	2018. 04. 01	2
ウニ	竹島水族館	2018. 04. 03	1
イソミミズ	西 浩孝	2018. 05. 01	5
イソギンチャク	西 浩孝	2018. 05. 22	1
海産無脊椎動物	西 浩孝	2018. 06. 14	1
スズメガイダマシ	西 浩孝	2018. 06. 19	2
海産無脊椎動物	西 浩孝	2018. 08. 14	2
スズメガイダマシ	西 浩孝	2018. 08. 28	2
コケムシ	西 浩孝	2019. 01. 23	3
環形動物	西 浩孝	2019. 01. 23	1
ナマコ	西 浩孝	2019. 02. 05	1
《魚類》			
アイザメ	蒲郡市竹島水族館	2018. 06. 16	1
淡水魚類標本 (愛知県産)	荒尾一樹	2018. 08. 31	3
トウカイナガレホトケドジョウ	井藤大樹	2018. 10. 18	1
タカハヤ	石原和代	2018. 11. 17	6

カワバタモロコ (名古屋市戸田川産)	なごや生物多様性センター	2018. 11. 29	2
カワバタモロコ (名古屋市山崎川産)	なごや生物多様性センター	2018. 11. 29	1
ノロゲンゲ	西 浩孝	2018. 12. 01	4
《鳥類》			
ツグミ	山崎哲也	2018. 04. 10	1
アオバト	石川壮久	2018. 06. 13	1
ノスリ	石川由永	2018. 06. 13	1
コミミズク	大羽吉幸	2018. 06. 13	1
アカハラ	藤城信幸	2018. 06. 13	1
オオミズナギドリ	渡辺幸久	2018. 06. 13	1
キジバト	渡辺幸久	2018. 06. 13	1
ヒヨドリ	渡辺幸久	2018. 06. 13	1
ハイタカ	縦山聖晃	2018. 06. 13	1
アオバト	渡辺幸久	2018. 06. 13	1
セグロカモメ	福井孝和	2018. 06. 13	1
ハシボソミズナギドリ	福井孝和	2018. 06. 13	1
ヒメウ	渡辺幸久	2018. 06. 13	1
ハイイロミズナギドリ	渡辺幸久	2018. 06. 13	1
シロエリオオハム	真野 徹	2018. 06. 13	1
ヤマドリハクセイ	小林直子 (奥村忠司)	2018. 07. 08	1
ササゴイ	山口恵子	2018. 08. 19	1
ハイタカ	三の丸会館 (豊橋市)	2018. 12. 26	1
ホシハジロ	藤岡エリ子	2019. 03. 20	1
《哺乳類》			
ニホンジカトロフィー、エゾジカ角×4	小林直子 (奥村忠司)	2018. 07. 08	6
ニホンイタチ	城所悦子	2018. 12. 20	1
ハクビシン	上田 勉	2019. 01. 13	1
ニホンジカ	上田 勉	2019. 01. 13	1
イノシシ	上田 勉	2019. 01. 14	1
キツネ	田中海生	2019. 01. 30	1
ニホンカモシカ	愛知県東三河総局 環境保全課	2019. 01. 31	1
イタチ sp.	武田芳男	2019. 02. 10	1
コウベモグラ	城所悦子	2019. 02. 13	1
ハクビシン	加藤利依	2019. 03. 09	1
イタチ sp.	武田芳男	2019. 03. 20	1

(3) 収蔵資料状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

区分	記号	平成30年度 受入点数	平成30年度 登録点数	登録資料	未登録資料	登録・未登録 資料合計
古生物部門	TMNH	2,436	29	10,753	57,059	67,812
岩石・鉱物部門	TMNH-R	116	11	3,977	4,756	8,733
植物部門	TMNH-B	0	0	16,402	17,934	34,336
動物部門		16,730	214	67,814	373,519	441,333
その他(民芸品等)		0	0	0	6	6
計		19,282	254	98,946	453,274	552,220
(動物部門内訳)						
貝類	TMNH-MO	897	38	34,858	149,206	184,064
甲殻類	TMNH-C	62	7	52	1,765	1,817
昆虫類	TMNH-I	15,669	92	29,055	219,789	248,844
その他の無脊椎動物	TMNH-IV	31	5	62	695	757
魚類	TMNH-F	34	11	2,395	1,505	3,900
両生類	TMNH-AM	0	0	77	49	126
爬虫類	TMNH-RE	0	1	148	64	212
鳥類	TMNH-AV	19	33	598	240	838
哺乳類	TMNH-MA	18	27	569	206	775

(4) 鳥類等の資料化

自然史博物館では、交通事故や窓ガラスなどに衝突して死亡した野生動物を市民の協力を得て収集している。平成 30 年度に剥製あるいは骨格標本などに資料化したものは以下のとおりである。

種名	形状	数量
ハイタカ	本剥製、胴部の骨	1
コアホウドリ	本剥製、胴部の骨	1
オオハム	本剥製、胴部の骨	1
ハイロウミツバメ	本剥製、胴部の骨	1
ホトトギス	本剥製、胴部の骨	1
計		5

(5) マッコウクジラ頭骨除肉・脱脂

平成 30 年 9 月 22 日に三河港神野ふ頭付近に漂着したマッコウクジラの頭骨を骨格標本とするため、平成 30 年度は除肉及び脱脂を行った。

(6) 外部研究者の資料利用

収蔵資料について、主に調査研究を目的とした研究者の利用について、平成 30 年度は 5 件を受入れた。

①件 名：脊椎動物の掘削適応の研究のため

利用者：名古屋大学大学院環境学研究科

仲井大智

内 容：哺乳類骨格標本

②件 名：カメムシ類の分類学的研究のため

利用者：国立研究開発法人 農研・食品産

業技術総合研究機構 河野勝行

内 容：カメムシ類標本

③件 名：脊椎動物の掘削適応の研究のため

利用者：名古屋大学大学院環境学研究科

仲井大智

内 容：哺乳類骨格標本

④件名：ヒメバチ類の研究のため

利用者：森下俊介

内容：ヒメバチ類標本

⑤件名：国産イタチ類の形態変異解析の研究のため

利用者：神奈川県立生命の星・地球博物館
鈴木 聡

内容：イタチ類骨格標本

(7) 資料及び標本の貸出・借用

1) 貸出

①貸出先：こども未来館

目的：「おどろきワンダーランド うんこパラダイス」での展示のため

貸出期間：平成30年4月20日～平成30年5月10日

貸出資料：恐竜等の糞化石7点

②貸出先：名古屋市科学館

目的：ササの一斉開花とその影響に関する展示のため

貸出期間：平成30年4月12日～平成30年9月13日

貸出資料：ネズミ類の剥製2点

③貸出先：碧南海浜水族館

目的：「外来生物展」での展示のため

貸出期間：平成30年7月4日～平成30年10月5日

貸出資料：アライグマ等の哺乳類剥製3点

④貸出先：静岡大学教育学部地学研究室
延原尊美

目的：貝殻の形態解析の研究のため

貸出期間：平成30年6月29日～平成31年3月31日

貸出資料：タマキガイ類等の二枚貝118ロット

⑤貸出先：名古屋市立向陽高等学校 利渉幾多郎

目的：遺跡出土動物遺体との比較研究のため

貸出期間：平成30年10月8日～平成31年1月14日

貸出資料：ニホンザル等の哺乳類骨格6点

⑥貸出先：国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財センター 環境考古学研究室

目的：3次元計測（非破壊）による骨格図の作成及びレプリカ製作

貸出期間：平成30年11月1日～平成31年3月31日

貸出資料：カリフォルニアアシカ骨格1点

⑦貸出先：浜松市博物館

目的：平成30年度干支展「亥一猪口っとイノシシー」での展示のため

貸出期間：平成31年1月18日～令和元年5月24日

貸出資料：自然史博物館標本・資料26点

⑧貸出先：合田隆久

目的：中津川市鉱物博物館にて開催の「私の展示室—ナキウサギ写真展—」での展示のため

貸出期間：平成31年3月2日～令和元年6月2日

貸出資料：キツネ等の頭骨2点

2) 借用

①借用先：神奈川県立生命の星・地球博物館

目的：展示標本および学習標本として利用するため

借用期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

借用資料：ストロマトライト、リップルマークなどの岩石標本9点

②借用先：南知多ビーチランド
目的：鱗脚類化石との比較のため
借用期間：平成30年4月17日～平成30年5月17日
借用資料：セイウチ骨格1式

③借用先：三津村勝征
目的：トピック展示「宇宙からの訪問者『長良隕石』」に展示のため
借用期間：平成31年2月26日～平成31年4月17日
借用資料：長良隕石1点

④借用先：浜松市博物館
目的：企画展「亥ちよこ～猪口ちよこっとイノシシ～」での展示のため
借用期間：平成30年12月4日～平成31年1月18日
借用資料：歴史・民俗学的資料20点

(8) 図書

1) 購入図書

(単行本)

(13冊)

書名	著者・編集・監修者	出版社
広辞苑 第七版	新村 出 (編)	岩波書店
図説日本の植生 (第2版)	福嶋 司 (編著)	朝倉書店
増補改訂 日本帰化植物写真図鑑 第2巻 —Plant invader 500種—	植村修二・勝山輝男・清水矩宏・水田光雄・森田弘彦・廣田伸七・池原直樹 (著)	全国農村教育協会
改訂新版 日本の野生植物 4	大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩 (編)	平凡社
改訂新版 日本の野生植物 5+ 総索引	大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩 (編)	平凡社
砂浜海岸の生態学	A. C. Brown, A. McLachlan (著), 須田有輔, 早川康博 (訳)	東海大学出版会
石の俗称辞典 (第2版)	加藤碩一 (著)	愛智出版
ゾルンホーフエン化石図譜 I	Karl Albert Frickhinger (著), 小島郁生, 舟木嘉浩, 舟木秋子 (訳)	朝倉書店
ゾルンホーフエン化石図譜 II	Karl Albert Frickhinger (著), 小島郁生, 舟木嘉浩, 舟木秋子 (訳)	朝倉書店
Anatomy of Dolphins: Insights into Body Structure and Function	Bruno Cozzi, Stefan Huggenberger, Helmut A Oelschlaeger (著)	Academic Press
The teeth of non-mammalian vertebrates	Barry Berkovitz, Peter Shellis (著)	Academic Press
Marine Mammals, Third Edition: Evolutionary Biology	Annalisa Berta, James Sumich, Kit Kovacs (著)	Academic Press
<i>Limnoperna Fortunei</i> : The Ecology, Distribution and Control of a Swiftly Spreading Invasive Fouling Mussel (Invading Nature - Springer Series in Invasion Ecology)	Demetrio Boltovskoy (編)	Springer

(雑誌類)

(46冊)

雑誌名	巻号数	出版社
日経サイエンス	第48巻4～12号、第49巻1～3号 (12冊)	日経サイエンス社
科学	第88巻4～12号、第89巻1～3号 (12冊)	岩波書店
遺伝	第72巻3～6号、第73巻1～2号 (6冊)	エヌ・ティー・エス
生物科学	第69巻3～4号、第70巻1～2号 (4冊)	日本生物科学者協会
昆虫と自然	第53巻4号、6～13号、第54巻1～3号 (12冊)	ニューサイエンス社

2) 交換・寄贈図書等

個人：4人から46点

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

国内：273機関から812冊

3) 図書資料収蔵点数

国外：11カ国22機関から77冊

42,987点 (平成31年3月31日現在)

7. 施設整備

(1) 大型映像 3D 化

平成 23 年に導入した 4K デジタル映像機器システムの経年劣化及び平成 5 年から未更新のスピーカー等の音響機器の老朽化による更新に伴い、新たに 4K 規格の 3D 映像が上映可能なデジタルシネマシステムを、5 年リース契約で導入した。

4K3D デジタルプロジェクターとして、最新の 3D 上映システム (6 原色 3D 方式) を内蔵し、2D 映像と 3D 映像で明るさの落差がほとんどないレーザー光源を採用した BARCO 製 DP4K-45L を導入した。併せて、3D 映像の上映に適したシルバースクリーンや、音源の再現性にこだわった音響機器等を導入し、シアター全体で映像機器及び音響機器類を统一的に運用できるシステムに更新した。

これにより、当館が誇る日本最大級の大型平面スクリーン (幅約 18 m) というポテンシャルを最大限に生かした、色鮮やかでシャープかつクリアな 3D 映像が、迫力あるサウンドで体感可能な大型映像上映施設となった。

設置場所：特別企画展示室

契約金額：78,356,160 円 (長期継続契約)

請負業者：NTT ファイナンス株式会社
東海支店

設置期間：平成 30 年 4 月 24 日～10 月 31 日

(2) 野外恐竜模型 (ブラキオサウルス) 修繕

1) ブラキオサウルス色塗りデザイン募集

野外恐竜ランドのブラキオサウルスの親子は平成 2 年に設置後、おおむね 10 年に一度劣化した部分を修繕し、色を塗り替えている。これまで平成 10 年度、平成 20 年度の 2 回塗り替えを行い、デザインを公募するのは今回で 2 回目となる。平成 30 年度は開館 30 周年記念事業と位置づけ、特別企画展の関連イベントとしてデザインの募集を行った。

募集期間：平成 30 年 7 月 13 日 (金)～9 月 30 日 (日) 70 日間

対 象：第 33 回特別企画展「体感！恐竜ワールド」観覧者 (特別企画展終了日の 9 月 2 日まで会場にて応募ハガキ配布)

応募方法：特別企画展会場出口で配布した応募ハガキのイラストに色鉛筆で色を塗り、郵送または持参。特別企画展の会期中は配布場所で色塗りコーナーも設置。

応募総数：2,240 枚 (配布枚数 4,650 枚)

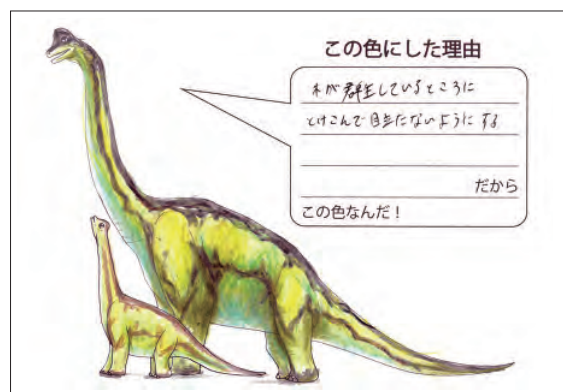
一次審査：応募作品のうち必要事項に不備がなく、塗り方が丁寧で、デザインの理由が比較的科学的なものを古生物担当学芸員中心に絞り、修繕担当業者に確認し塗装が困難なもの除外して候補作品 20 点 (大人 7 名、小中学生 13 名/市内 4 名、県内 10 名、県外 6 名) を決定

二次審査：自然史博物館来館者の投票により、1 点のデザイン案採用品を決定 (デザイン案候補作品掲示及び投票場所は自然史博物館化石を知るコーナー)

投票期間：平成 30 年 12 月 1 日 (土)～平成 31 年 1 月 6 日 (日) 29 日間

投票数：156 票 (総投票数 1,335 票)

採用者：熊谷晃伸 (くまがい あきのぶ) さん
表彰式：平成 31 年 3 月 21 日 (木・祝) 14 時～14 時 30 分 (自然史スクエアにて)



▲採用作品

2) 野外恐竜模型（ブラキオサウルス）修繕

野外恐竜ランドの強化プラスチック（FRP）製恐竜模型（ブラキオサウルスの親子）の腐食、摩耗及び破損部分の補修を行い、公募により採用されたデザイン案を元に全面塗装を行った。

ブラキオサウルス親：長さ 23 m、高さ 13 m

ブラキオサウルス子：長さ 7 m、高さ 4 m

契約金額：2,268,000 円

請負業者：モリオカスポーツ

修繕期間：平成 30 年 10 月 22 日～平成 31 年 3 月 15 日（足場組立～色塗り替えは平成 31 年 1 月 6 日～3 月 15 日）



(3) その他修繕等

①滅菌装置修繕

滅菌装置の修繕及び防錆塗装を行った。

契約金額：3,105,000 円

請負業者：東化研株式会社

修繕期間：平成 30 年 4 月 17 日～6 月 15 日

②中央監視盤取替修繕

館内の空調設備機器等について運転状態、故障警報、各種計測計量などを一元管理できる中央監視盤を交換する修繕を行った。

契約金額：3,218,400 円

請負業者：ジョンソンコントロールズ株式会社

修繕期間：平成 30 年 4 月 11 日～6 月 27 日

③屋上等防水修繕

特別企画展示室前の屋上トップライト防水等修繕を行った。

契約金額：69,120 円

請負業者：有限会社創喜商会

修繕期間：平成 30 年 6 月 1 日～22 日

④軟水装置部品取替修繕

収蔵庫 5 の空調設備に接続されている軟水装置のイオン交換樹脂を取替する修繕を行った。

契約金額：155,520 円

請負業者：株式会社平本管工

修繕期間：平成 31 年 2 月 20 日～3 月 1 日

⑤古生代展示室タッチパネルモニター機器修繕

液晶タッチパネルモニター 3 台（「エディアカラ・バージェス検索」「学芸員に聞いてみよう」「メゾンクリーク検索」）を新規モニターに更新する修繕を行った。

契約金額：488,484 円

請負業者：イトウ通信サービス株式会社

修繕期間：平成 31 年 2 月 7 日～3 月 26 日

⑥入口自動ドア部品取替修繕

入口の自動ドア 2 箇所の部品を取替える修繕を行った。

契約金額：149,040 円

請負業者：株式会社藤環

修繕期間：平成 31 年 3 月 13 日～18 日

⑦特別企画展示室ロビー空調機修繕

特別企画展示室ロビー既設パッケージ型エアコンの修繕を行った。

契約金額：461,160 円

請負業者：株式会社藤環

修繕期間：平成 31 年 3 月 13 日～19 日

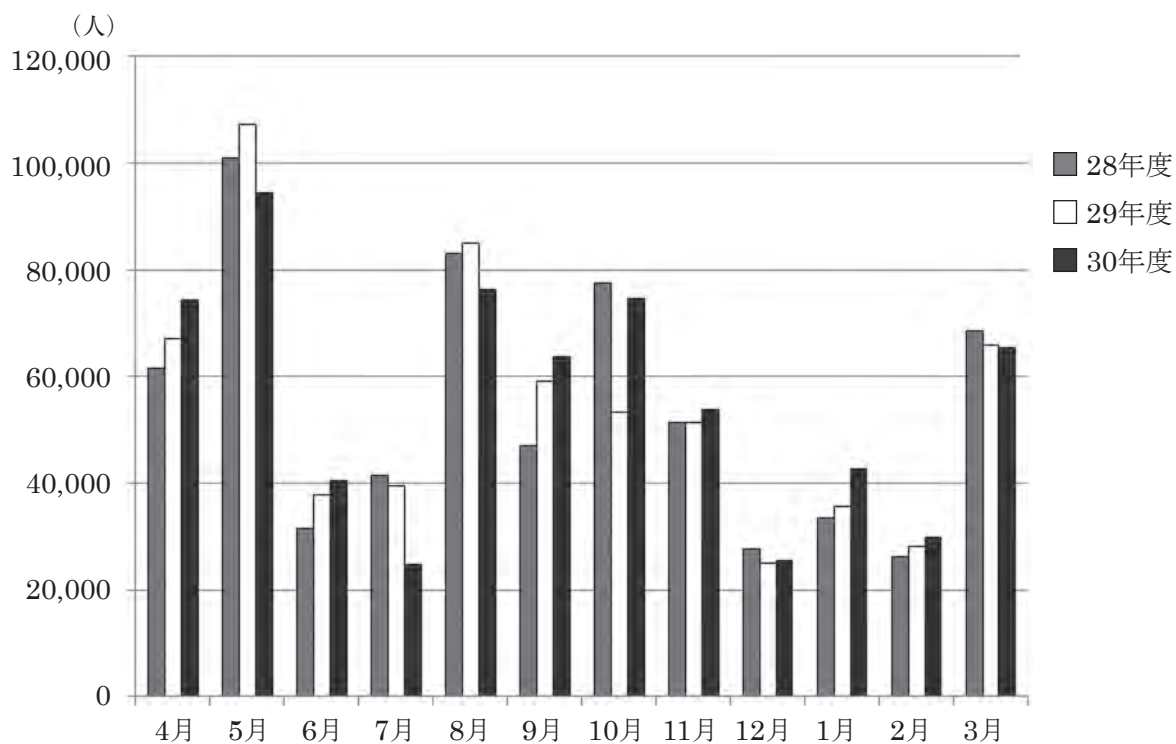
Ⅱ. 利用状況

1. 入館者

(1) 自然史博物館利用統計

区分	28年度			29年度			30年度		
	入館者 人	前年比 %	動植物公園 人	入館者 人	前年比 %	動植物公園 人	入館者 人	前年比 %	動植物公園 人
4月	61,474	2.5	77,557	67,227	9.4	84,980	74,408	10.7	94,090
5月	101,064	1.2	122,479	107,179	6.1	132,708	94,365	△12.0	118,524
6月	31,477	6.9	38,750	37,889	20.4	47,663	40,583	7.1	50,462
7月	41,409	33.8	50,190	39,432	△4.8	48,727	24,737	△37.3	28,737
8月	82,965	62.3	100,012	85,064	2.5	101,527	76,228	△10.4	97,347
9月	46,988	△35.8	54,551	59,074	25.7	74,940	63,795	8.0	80,320
10月	77,497	13.2	95,617	53,194	△31.4	67,397	74,650	40.3	96,808
11月	51,393	15.1	62,776	51,476	0.2	70,783	53,702	4.3	72,667
12月	27,669	29.4	34,336	24,999	△9.6	34,554	25,518	2.1	33,741
1月	33,384	△11.4	42,265	35,748	7.1	47,000	42,696	19.4	52,261
2月	26,181	△2.9	32,679	28,220	7.8	34,989	29,927	6.0	46,281
3月	68,523	1.4	86,309	65,988	△3.7	93,369	65,495	△0.7	77,972
年計	650,024	6.3	797,521	655,490	0.8	838,637	666,104	1.6	849,210
累計	13,658,347	—	—	14,313,837	—	—	14,979,941	—	—

※平成4年4月29日、「動物園」と「自然史博物館」が一体の有料都市公園施設となり、名称が『豊橋総合動植物公園』となる。平成8年4月27日植物園オープン。



(2) 入館者種別

(項目別入館者数)

区分	日曜等の区別			合計
	日曜・祝日等	土曜日	その他	
開館日数	70日	49日	195日	314日
入館者総数	330,379人	141,398人	194,327人	666,104人
1日平均	4,720人	2,886人	997人	2,121人
1か月平均	27,532人	11,783人	16,194人	55,509人
1日最高入館者	5月4日 14,838人	8月18日 7,980人	10月19日 9,021人	—

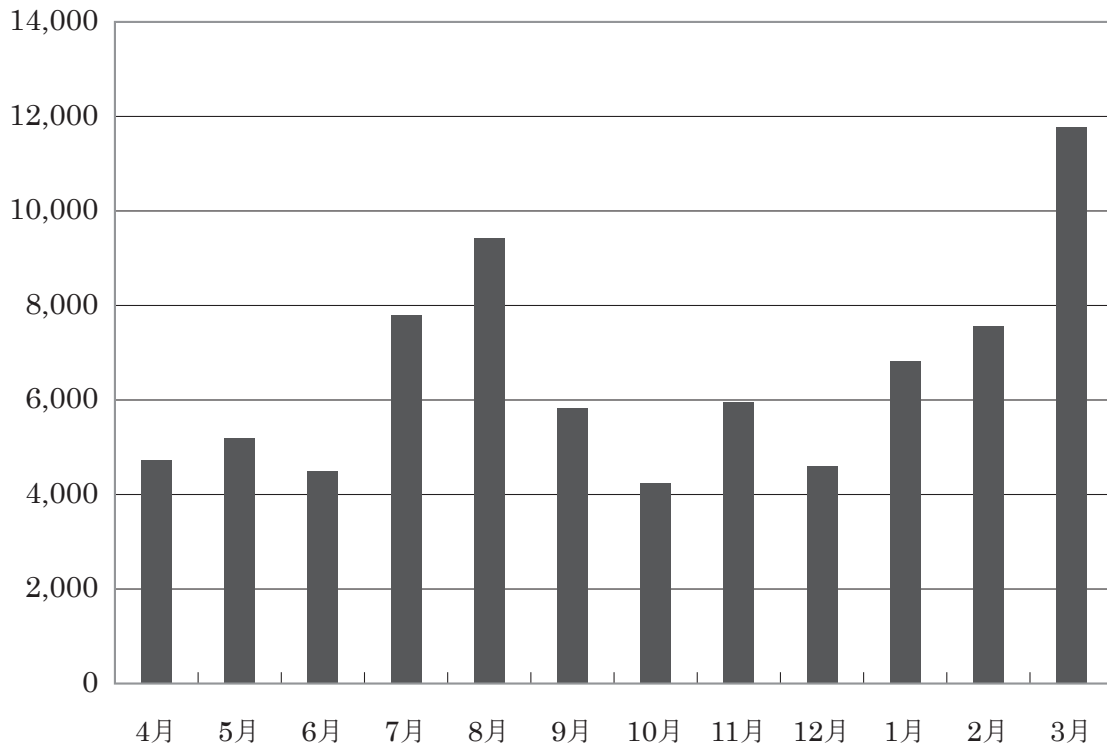
※9月4日は台風により閉園

(3) ホームページ閲覧者数

月	アクセス数		
	トップページ	英語版	携帯版
平成 30 年 4 月	4,667	27	34
平成 30 年 5 月	5,149	23	27
平成 30 年 6 月	4,461	23	15
平成 30 年 7 月	7,754	28	21
平成 30 年 8 月	9,369	35	27
平成 30 年 9 月	5,786	22	28
平成 30 年 10 月	4,212	14	23
平成 30 年 11 月	5,883	31	34
平成 30 年 12 月	4,551	27	33
平成 31 年 1 月	6,765	31	35
平成 31 年 2 月	7,492	32	34
平成 31 年 3 月	11,699	23	45
計	77,788	316	356

※豊橋市自然史博物館ホームページ：<http://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/>
 ホームページ開設：2000年10月7日

(トップページアクセス数)



(4) 石巻自然科学資料館入館者状況

区分	28年度			29年度			30年度		
	開館日数	利用者	前年比	開館日数	利用者	前年比	開館日数	利用者	前年比
月	日	人	%	日	人	%	日	人	%
4	26	729	5.7	26	678	△7.0	26	888	31.0
5	27	1,022	2.1	26	1,014	△0.8	26	943	△7.0
6	26	714	△2.5	26	606	△15.1	26	485	△20.0
7	27	567	△3.1	26	591	4.2	26	363	△38.6
8	27	640	3.1	27	582	△9.1	27	378	△35.1
9	26	525	△4.2	26	464	△11.6	26	368	△20.7
10	26	624	3.3	26	595	△4.6	26	663	11.4
11	26	523	△0.9	26	620	18.5	26	885	42.7
12	24	663	6.1	27	568	△14.3	26	768	35.2
1	27	827	△6.6	26	856	3.5	27	800	△6.5
2	24	472	17.1	24	444	△5.9	24	498	12.2
3	27	728	△9.6	27	804	10.4	27	596	△25.9
計	313	8,034	0.1	313	7,822	△2.6	313	7,635	△2.4

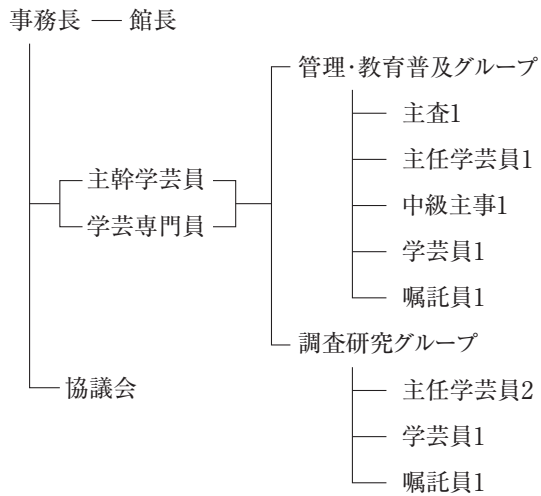
※平成12年度から、機構改革に伴い資料館の管理が、商業観光課から自然史博物館に移管された。

※平成13年4月1日から、自然史博物館の附属施設となった。(豊橋市自然史博物館条例の一部改正)

Ⅲ. 組織及び運営

1. 組織

(1) 運営組織（平成 31 年 3 月 31 日）



(2) 自然史博物館職員（平成 31 年 3 月 31 日）

役職名	氏名
館長（嘱託員）	松岡敬二
事務長	仲井慎治
主幹学芸員	坂本博一
学芸専門員	長谷川道明
主査	田村亨
主任学芸員	加藤千茶子
主任学芸員	安井謙介
主任学芸員	吉川博章
中級主事	丹羽美春
学芸員	西浩孝
学芸員	一田昌宏
嘱託員	足立修
嘱託員	鈴木秀治

2. 博物館の使用料等

- ①入館料：自然史博物館入館料は、豊橋総合動植物公園の入園料の一部として、総合動植物公園入園料に一本化されている。（平成 4 年 4 月 29 日以降）

区分	豊橋総合動植物公園入園料	
	個人	団体
大人	600 円	480 円
小・中学生	100 円	80 円

※学齢に達しない者は、無料とする。

- ②使用料（観覧等）：自然史博物館条例第 4 条
特別企画展観覧料（以下の金額の範囲内）

区分	特別企画展観覧料 （1 人 1 回につき）	
	個人観覧料	団体観覧料
大人	1,000 円	800 円
小・中学生	400 円	300 円

※学齢に達しない者は、無料とする。

※団体とは、30 名以上とする。

大型映像観覧料（以下の金額の範囲内）

区分	大型映像観覧料 （1 人 1 回につき）	
	個人観覧料	団体観覧料
大人	1,000 円	800 円
小人（中学生以下）	400 円	300 円

※個人利用において学齢に達しない者は、
保護者 1 人につき 1 人に限り無料とする。

※団体とは、30 名以上とする。

- ③手数料：自然史博物館条例第 5 条
博物館の資料を撮影等するとき。

区分	単位	手数料
複写	1 枚につき	20 円
模写	1 点につき	1,020 円
模造	1 点につき	1,020 円
拓本	1 点につき	1,020 円
撮影	撮影した写真を出版物等への掲載を目的とする場合	1 点につき 1,020 円
	その他の場合	300 円

④講堂、特別企画展示室使用料：

自然史博物館条例第6条

区分	単位	使用料
講堂	午前9時から正午まで	円 3,450
	午後1時から午後4時30分まで	4,080
	午前9時から午後4時30分まで	7,530
特別企画展示室	午前9時から正午まで	9,430
	午後1時から午後4時30分まで	10,480
	午前9時から午後4時30分まで	19,910

※入場料又は会費の類を徴収する場合の使用料は、当該使用料の倍額とする。

3. 決算

(1) 平成30年度歳入歳出決算見込

(歳入)

費目	説明	決算見込額
使用料	観覧料等	円 17,035,276
手数料	資料複写等手数料	42,720
財産収入	その他賃借料	433,631
諸収入	違約金及び延納利息	1,000
	図録頒布収入	270,200
	講座等収入	95,600
	広告料収入	162,000
	電話収入	1,990
	光熱水費収入	113,239
	小計	644,029
合計		18,155,656

(歳出)

費目	決算見込額	費目	決算見込額
報酬	円 9,465,600	(印刷製本費)	円 1,735,840
給料	43,669,680	(光熱水費)	11,763,860
職員手当等	32,776,663	(修繕料)	11,184,207
共済費	17,272,917	(医薬材料費)	4,502
賃金	3,888,880	役務費	1,135,580
報償費	150,000	委託料	35,005,161
旅費	701,784	使用料及び賃借料	20,450,743
需用費	28,801,360	原材料費	0
(消耗品費)	3,915,250	備品購入費	1,043,829
(燃料費)	183,031	負担金、補助及び交付金	582,420
(食糧費)	14,670	公課費	15,400
		合計	194,960,017

4. 豊橋市自然史博物館協議会

第1回

期 日：平成30年7月19日（木）

場 所：自然史博物館講堂

出席者：委員10人、事務局6人

議 題：

- ・会長及び副会長の互選について
会 長 榊原健二郎
副会長 河合敏博
- ・平成29年度自然史博物館事業報告について
 - (1) 教育普及活動
 - (2) 調査研究活動
 - (3) 資料収集・保管活動
 - (4) 利用状況及び運営
- ・平成30年度自然史博物館主要事業について
 - (1) 開館30周年記念事業
 - ①特別企画展
 - ②記念企画展
 - ③野外恐竜模型の修繕
 - ④大型映像上映システムの更新
 - (2) 科学教育環境の充実
 - ①施設管理事業
 - (3) 自然科学を学ぶ機会の充実
 - ①重点事業
 - ②教育普及活動
 - ③調査研究活動

第2回

期 日：平成30年12月12日（水）

場 所：自然史博物館講堂

出席者：委員10人、事務局8人

議 題：

- ・平成30年度の主な活動等について
 - (1) 開館30周年記念事業
 - (2) 第33回特別企画展
 - (3) 大型映像リニューアル
 - (4) 平成30年度の主な事業
- ・平成31年度自然史博物館の主要事業計画（案）について
 - (1) 科学教育環境の充実
 - ①施設管理事業

(2) 自然科学を学ぶ機会の充実

①重点事業

②教育普及活動

・博物館協議会調査研修について

第3回

期 日：平成31年2月22日（金）

場 所：岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

出席者：委員8人、事務局6人

議 題：

- ・平成30年度の主な活動等について
 - (1) 開館30周年記念事業
 - (2) 第33回特別企画展
 - (3) 大型映像リニューアル
 - (4) 平成30年度の主な事業
- ・平成31年度自然史博物館主要事業計画（案）について
 - (1) 科学教育環境の充実
 - (2) 自然科学を学ぶ機会の充実
- ・博物館の調査研修について
平成30年3月にリニューアルオープンした「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」の運営、展示方法などを調査研修

豊橋市自然史博物館協議会委員（平成30年度）

役職名	氏名	部門
小中学校長会代表	河合敏博	学校教育
小中学校長会代表	近藤智彦	〃
自治連合会代表	木下正治	社会教育
元自然史博物館ボランティア代表	杉山康子	〃
小中学校PTA連絡協議会代表	浅沼友美	家庭教育
小中学校PTA連絡協議会代表	杉浦琴代	〃
元野依小学校校長	榊原健二郎	学識経験
元松葉小学校校長	安村信弘	〃
元豊城中学校教頭	中神則子	〃
愛知教育大学名誉教授	河村善也	〃

5. 各種委員会

(1) 豊橋市自然史博物館資料収集委員会

購入予定資料、寄贈受入予定資料等について審査、意見を聴取する。平成30年度は、昆虫標本コレクション2件について、該当分野の委員のみによる審査を行った。

第1回

期 日：平成30年12月21日（金）

場 所：自然史博物館講堂

出席者：江田信豊委員

事務局4人

審査案件：昆虫類の標本コレクション寄贈2件

豊橋市自然史博物館資料収集委員

（平成30年度）

選出分野	氏名	所属・役職
地学	河村善也	愛知教育大学名誉教授
植物	藤井伸二	人間環境大学准教授
昆虫	江田信豊	元・南山大学教授 名城大学非常勤講師
脊椎動物	織田銃一	前・岡山理科大学教授 元・名古屋大学大学院教授

(2) 豊橋市自然史博物館研究委員会

第1回

期 日：平成30年7月3日（火）

場 所：自然史博物館講堂

出席者：委員6人、事務局9人

議 題：

- (1) 平成30年度の事業について
 - ・第14回自然史博物館自由研究展
 - ・出前授業／標本貸出セット
 - ・第33回特別企画展「体感！恐竜ワールド」
- (2) 学校連携事業の充実と博物館利用の促進について

第2回

期 日：平成30年9月19日（水）～21日（金）

場 所：豊橋市自然史博物館学習室

出席者：委員7人、事務局2人

議 題：

- (1) 第14回自然史博物館自由研究展応募作品の審査

第3回

期 日：平成31年3月8日（金）

場 所：自然史博物館講堂

出席者：委員4人、事務局7人

議 題：

- (1) 平成30年度の事業報告
 - ・第14回自然史博物館自由研究展
 - ・出前授業／標本貸出セット
- (2) 来年度の自由研究展実施スケジュール等について
- (3) 学校連携事業の充実と利用促進について
 - ・出前授業／標本貸出セット

豊橋市自然史博物館研究委員（平成30年度）

区分	氏名	所属・役職
委員長	守田雅一	向山小学校長
委員	高林英伸	南稜中学校教諭
委員	藪田ちひろ	豊城中学校教諭
委員	福井宏之	高根小学校教諭
委員	稲橋卓	富士見小学校教諭
委員	佐羽尾かおり	汐田小学校教諭
委員	鈴木理恵子	天伯小学校教諭

(3) 豊橋市自然史博物館大型映像番組選定委員会

期 日：平成30年6月21日（木）

場 所：自然史博物館講堂

出席者：委員長、委員5人、事務局3人

欠席者：なし

議 題：

- ・大型映像平成 30 年度後期からの番組配給候補者の選定

- ・その他

議事内容

1. 委員長あいさつ
2. 提案書に基づき番組配給候補者によるプレゼンテーションと質疑応答。
3. 委員による採点、番組配給受託候補者の選定。

豊橋市自然史博物館大型映像番組選定委員
(平成 30 年度)

区分	氏名	所属・役職
委員長	三輪多恵子	豊橋創造大学准教授 のんほいパーク盛り 上げ隊代表
委員	都 築 則 雄	豊橋観光コンベンシ ョン協会常務理事
	黒 柳 勉	豊橋市立中学校理科 研究部長
	千 種 優 子	豊橋市立小学校理科 研究部長
	伊 藤 嘉 邦	総合動植物公園部長
	仲 井 慎 治	自然史博物館事務長

6. 自然史博物館ボランティア

市民参加による博物館事業の推進及び生涯学習に資するため、平成 8 年度より博物館ボランティアの一般公募を行っている。常設展示及び特別企画展の解説活動を主とする「教育普及ボランティア」と、標本の処理、登録作業を行う「資料ボランティア」がある。平成 30 年度は、71 人が登録し、活動を行った。

(1) 主な活動

1) 平成30年度ボランティア説明会及び研修

平成 24 年度より新規応募者向けにボランティア活動を紹介する説明会を開催している。平成 30 年度は 10 人の応募者があり、所定の研修後、8 人を採用した。

2) 運営委員会の開催

ボランティア主催の行事を自主的に企画・運営する運営委員に 7 人が選出され、12 回の運営委員会が開催された。

3) ボランティア・ガイドツアー

ボランティアによる常設展示室のガイドツアーを平成 22 年度より開催。平成 26 年 1 月からは毎週土・日曜日に実施し、好評を得ている。平成 30 年度の開催回数は 163 回、参加人数は 3,694 人であった。

4) ボランティア通信「ぶしたこ」の発行

ボランティアの相互交流と情報交換を目的としたボランティア通信「ぶしたこ」を 25 号から 27 号まで発行した。

5) 企画展「博物館のウラワザ」での活動

各分野の資料整理ボランティアが、資料整理ブース内での作業を学芸員とともに行うとともに、リサーチテーブルブースでは、ブースにて整理した資料を使った教育普及活動を行った。

6) 特別企画展関連行事での活動

「体感！恐竜ワールド」の会場内にて、展示解説などを行った。

①ボランティア総会

期 日：平成 30 年 5 月 19 日（土）
参加者：36 人

7) 恐竜大掃除

平成 30 年 12 月 21 日（金）に開催された恐竜大掃除に 19 人が参加し、野外恐竜ランドの実物大恐竜模型及び博物館内の恐竜骨格標本の清掃を職員とともに行った。

②ボランティア懇親会

期 日：平成 30 年 9 月 21 日（金）
場 所：豊橋市内
参加者：39 人

8) ボランティア野外研修会

期 日：平成 31 年 3 月 2 日（土）
場 所：豊橋市内（弓張山地、表浜）
内 容：ジュラ紀付加体と渥美層群の見学
参加者：16 人

③ボランティア交流会及び意見交換会

期 日：平成 31 年 3 月 17 日（日）
参加者：22 人

9) ボランティア主催行事

下記の行事を自主的に企画し、開催した。

(2) 愛知県ボランティア活動功労者表彰の受賞

自然史博物館ボランティアの 20 年を超える活動が評価され、愛知県からボランティア活動功労者表彰を受賞した。

受賞日：平成 30 年 9 月 6 日（木）

平成 30 年度のボランティア活動実績（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）

分野	登録人数 (人)	活動のべ人数 (人)	活動のべ時間 (時間)	活 動 内 容
運営委員会	7	86	198	自主研修等の企画・運営
編集委員会	6	28	72	ボランティア通信の編集・発行
教育普及	29	261	861	特別企画展解説、企画展解説等
資 料 整 理	植物	2	0	標本台紙貼等
	貝類	6	91	標本ラベル記入、リスト作成等
	昆虫	4	88	標本作製等
	魚類	3	21	標本作製等
	脊椎動物	19	234	標本作製等
	化石	16	261	化石クリーニング、登録等
	鉱物・岩石	4	44	登録、リスト作成等
	図書	3	61	図書受入、登録、配架等
小計	57	800	1,934	
計	99	1,175	3,065	

※登録人数は 71 人、内 23 人が複数分野に登録

IV. 条例、規則、要綱

豊橋市自然史博物館条例

(昭和 63 年 3 月 31 日条例第 6 号)

(趣 旨)

第 1 条 この条例は、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。）第 18 条の規定に基づき、豊橋市自然史博物館及びその附属施設（以下「自然史博物館」という。）の設置に関し、必要な事項を定めるものとする。

一部改正〔平成 13 年条例 13 号〕

(設 置)

第 2 条 自然史に関する資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供し、併せて博物館資料に関する調査研究を行い、市民の文化の向上に資するため、自然史博物館を次の場所に置く。

名称	位置
豊橋市自然史博物館	豊橋市大岩町字大穴 1 番地の 238
(附属施設) 豊橋市石巻自然科学資料館	豊橋市石巻町字南山 93 番地の 2

一部改正〔平成 13 年条例 13 号〕

(事 業)

第 3 条 自然史博物館は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 博物館資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- (2) 博物館資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 博物館資料に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、頒布すること。
- (4) 博物館資料に関する講演会、研究会、講習会等を開催すること。
- (5) 自然史に関する展示等のための会場を提供すること。
- (6) その他教育委員会が必要と認める事業を行うこと。

(観覧等)

第 4 条 特別企画展示室において特別な企画に基づく博物館資料の展示品を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の範囲内において市長が定める使用料を納付しなければならない。

2 特別企画展示室において大型映像を観覧しようとする者は、別表第 2 に定める額の範囲内において市長が定める使用料を納付しなければならない。

全部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

一部改正〔平成 23 年条例 13 号〕

(博物館資料の利用等)

第 5 条 博物館資料の閲覧、複写、模写、模造、拓本、撮影等をしようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者は、その際別表第 3 に定める手数料を納付しなければならない。

一部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

(使用の承認等)

第 6 条 自然史に関する展示又は博物館資料に関する講演会、研究会、講習会等のために自然史博物館を使用しようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、その際別表第 4 に定める使用料を納付しなければならない。

一部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

(使用料等の減免)

第 7 条 市長は、特別の事由があると認めるときは、使用料又は手数料を減免することができる。

(使用の制限)

第 8 条 教育委員会は、次の各号の一に該当する場合には、使用を承認しない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (2) 管理上支障があると認めるとき。
- (3) その他教育委員会が必要があると認めるとき。

(権利譲渡の禁止等)

第9条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

2 使用者は、自然史博物館に特別の設備をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

(使用承認の取消等)

第10条 教育委員会は、次の各号の一に該当すると認めた場合には、自然史博物館の使用の承認を取り消し、又は使用の停止を命ずることができる。

(1) 使用者が、この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 公益上又は管理上特に必要があると認められたとき。

(使用料等の還付)

第11条 納付された使用料又は手数料は、還付しない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限)

第12条 教育委員会は、次の各号の一に該当する場合には、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

(1) 入館者に迷惑をかけ、又は自然史博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷するおそれがあると認められたとき。

(2) 管理上支障があると認められたとき。

(原状回復)

第13条 使用者は、自然史博物館の使用を終わったとき又は第10条の規定により使用の承認を取り消され、若しくは使用を停止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

(損害賠償)

第14条 入館者又は使用者は、自然史博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失したときは、市長の指示に従い、これを原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事由

があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(自然史博物館協議会)

第15条 法第20条第1項の規定に基づき、自然史博物館に豊橋市自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

3 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

4 協議会の委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 協議会の委員は、再任されることができる。

一部改正〔平成24年条例8号〕

(委 任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

※別表類は下記の箇所を参照。

第4条 別表第1. 59ページ ②

〳 別表第2. 〳 〳

第5条 別表第3. 59ページ ③

第6条 別表第4. 60ページ ④

豊橋市自然史博物館条例施行規則

(昭和63年4月5日教育委員会規則第4号)

(趣 旨)

第1条 この規則は、豊橋市自然史博物館条例(昭和63年豊橋市条例第6号。以下「条例」という。)第16条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 豊橋市自然史博物館及び附属施設(以下「自然史博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要があると認められたときは、開館時間を変更することができる。

2 自然史博物館の入館時間は、午前9時か

ら午後4時までとする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、入館時間を変更することができる。

一部改正〔平成13年教委規則8号〕

(休館日)

第3条 自然史博物館の休館日は、次の各号に掲げる施設に応じ、当該各号に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 豊橋市自然史博物館 次に掲げる日

ア 1月5日から12月28日までの毎週月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

イ 1月1日及び12月29日から同月31日まで

(2) 豊橋市石巻自然科学資料館 月曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

全部改正〔平成13年教委規則8号〕

一部改正〔平成19年教委規則3号〕

(観覧等)

第4条 条例第4条第1項の規定により、特別な企画に基づく展覧会(以下「特別企画展」という。)を観覧しようとする者(以下「特別企画展観覧者」という。)は、使用料の納付と引換えに教育委員会がその都度定める様式による観覧券の交付を受けなければならない。

2 条例第4条第2項の規定により、大型映像を観覧しようとする者は、使用料の納付と引き換えに観覧券(様式第1)の交付を受けなければならない。

3 前2項又は次条第1項の規定により交付された観覧券は、特別企画展示室の入口において改札と同時に半券を回収する。ただ

し、団体観覧の場合は、この限りでない。

全部改正〔平成4年教委規則14号〕

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(前売券の交付)

第5条 教育委員会は、特別企画展観覧者に対しては、前条第1項に規定する観覧券にかえて教育委員会がその都度定める様式による前売観覧券(以下「前売券」という。)を交付することができる。

2 前項の前売券を交付する場合の使用料の額は、当該前売券に係る特別企画展の団体観覧料と同額とする。

追加〔平成8年教委規則5号〕

(優待券等の発行)

第6条 教育委員会が特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(博物館資料の利用)

第7条 条例第5条第1項の規定により博物館資料(条例第2条に規定する博物館資料をいう。以下同じ。)の閲覧、複写、模写、模造、拓本、撮影等をしようとする者は、博物館資料利用申請書(様式第2)を教育委員会に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用の承認申請手続)

第8条 条例第6条第1項の規定により、自然史博物館の使用承認を受けようとする者は、使用承認申請書(様式第3)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定による申請の手続は、使用日の属する月の6月前から使用日前7日前までにしなければならない。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用の承認)

第9条 教育委員会は、前条の規定による申請を承認したときは、使用承認書(様式第

- 4) を申請者に交付する。
- 2 前項の承認には、管理上必要な条件を附することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕
(手数料の減免)

第10条 条例第7条の規定により、手数料の減免を受けようとする者は、手数料減免申請書(様式第5)を市長に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕
(使用料の減免)

第11条 条例第7条の規定により使用料を減免することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 免除

ア 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の所持者及びこれらの者の引率者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

イ 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡設楽町、同郡東栄町及び同郡豊根村(以下「東三河地域」という。)の小学校、中学校及びこれらに準ずる学校の教育活動の一環として児童又は生徒及びこれらの者の引率者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

ウ 東三河広域連合の交付するほの国こどもパスポートの所持者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

エ 東三河地域に居住し、又は通園している学齢に達していない者のうち、保護者1人につき2人目以降の者が大型映像を観覧するとき。

(2) 免除又は減額

ア 観覧しようとする日の属する年の12月31日までに70歳以上となる者(市内に住所を有する者に限る。)が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

イ 市長が特別の事情があると認めたと

き。

2 前項第1号イ及び第2号イの規定により使用料の免除又は減額を受けようとする者は、使用料減免申請書(様式第6又は様式第7)を市長に提出しなければならない。

3 第1項第1号(イを除く。)及び第2号アの規定により使用料の免除又は減額を受けようとする者は、その事由に該当することを係員に示さなければならない。

全部改正〔平成5年教委規則6号〕

一部改正〔平成8年教委規則5号・16年7号・25年4号・27年10号・30年7号〕

(特別の設備)

第12条 条例第9条第2項の規定により許可を受けようとする者は、自然史博物館の使用承認の申請の際に併せてその申請をしなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用料等の還付)

第13条 条例第11条ただし書の規定により既納の使用料又は手数料の全部又は一部を還付することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 特別企画展若しくは大型映像を観覧しようとする者又は使用者の責に帰することのできない事由で観覧し、又は使用することができなくなったとき。

(2) その他市長が特別の事情があると認めたとき。

一部改正〔平成4年教委規則10号・14号・8年5号〕

(博物館資料の館外貸出し)

第14条 博物館資料は、館外貸出しを行わないものとする。ただし、教育委員会が適当と認めたものについては、この限りでない。

2 前項の館外貸出しを受けようとする者は、資料館外貸出申請書(様式第8)を教育委員会に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(博物館資料の寄託)

第15条 自然史博物館は、博物館資料の寄託を受けることができる。

2 博物館資料を寄託しようとする者(以下「寄託者」という。)は、資料寄託申請書(様式第9)を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申請を承認したときは、寄託者に資料受託書(様式第10)を交付するものとする。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(自然史博物館協議会)

第16条 条例第15条第1項に規定する豊橋市自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長各1人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長及び副会長の任期は各1年とし、再任を妨げない。

3 会長は会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(会議)

第17条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(説明又は資料の請求等)

第18条 会長は、会議において関係職員に対し、説明又は資料の提出を求めることができる。

2 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(委任)

第19条 この規則の施行に関し必要な事項

は、教育長が定める。

一部改正〔平成8年教委規則5号・12年7号〕

豊橋市自然史博物館資料収集委員会設置要綱
(設置)

第1条 豊橋市自然史博物館(以下「自然史博物館」という。)における博物館資料の収集を適正かつ円滑に行うため、豊橋市自然史博物館資料収集委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(組織)

第2条 委員会は、5人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、自然史各分野について専門的な知識を有する者から教育委員会が委嘱する。

3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前各項の規定にかかわらず、必要に応じ、第4条の規定に基づく審査案件の専門知識を有する者を臨時委員として委嘱することができる。

(会議)

第3条 委員会は、教育委員会が招集する。

2 審査案件が単件又は同一の専門分野の場合、当該案件について専門的な知識を有する委員のみによる審査に代えることができる。

3 委員会は、非公開とする。

(審査事項等)

第4条 委員会は、博物館資料となる資料の購入又は受入れに関し、次に掲げる事項を審査するものとする。

(1) 対象となる資料の真贋及び学術的価値に関する事項

(2) 対象となる資料の評価額に関する事項

(3) 対象となる資料の適法性に関する事項

(4) 前3号に掲げるもののほか、資料の購

入又は受入れに関し市長が必要と認める事項

2 次の各号のいずれかに該当する場合、自然史博物館は、あらかじめ委員会の意見を聴取するものとする。

(1) 評価額が1件100万円以上の博物館資料の購入、寄贈又は寄託を受け入れようとするとき。

(2) 前号に掲げるもののほか、特に必要と認める資料を購入し、又は受け入れようとするとき。

3 委員会は、第1項の規定による審査の終了後、博物館資料審査報告書（別添様式）を作成し、審査結果を報告する。

4 第1項の規定による審査の内容について利害関係を有する委員は、前3項に基づく任務に加わることができない。

（庶務）

第5条 委員会の庶務は、自然史博物館において処理する。

（秘密の保持）

第6条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

（雑則）

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附則

この要綱は、平成30年7月27日から施行する。

豊橋市自然史博物館研究委員会要綱

（設置）

第1条 豊橋市自然史博物館（以下「自然史博物館」という。）の教育普及活動の効率的な推進を図るために、豊橋市自然史博物館研究委員会（以下「研究委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 研究委員会は、次に掲げる事業について、必要に応じ協議し、助言を行う。

(1) 自然史博物館の施設利用に関すること。

(2) 学校との連携事業に関すること。

(3) その他特に必要と認められること。

（委員）

第3条 研究委員会は、委員長及び委員をもって構成し、定数は10名以内とする。

2 委員長及び委員は、市内小中学校の教諭で理科又は美術を担当するもののうちから教育委員会が委嘱する。

3 委員長は、研究委員会を招集し、委員会の議長となる。

（委員会）

第4条 研究委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

2 研究委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 研究委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（委員の任期）

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げないものとする。

2 前項の規定にかかわらず、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（守秘義務）

第6条 委員長及び委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その任期後も、同様とする。

（庶務）

第7条 委員会の庶務は、自然史博物館において処理する。

（委任）

第8条 研究委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定めるものとする。

附則

この要綱は、平成15年6月4日から施行する。

自然史博物館の概要

経過

昭和58年	デンバー自然史博物館（アメリカ）と友好提携 実物恐竜化石アナトサウルス購入
昭和60～62年度	建設工事（市制施行80周年記念事業）
昭和63年5月1日	開館
平成4年4月29日	総合動植物公園オープン
平成4年12月19日	大型映像スタート
平成7年3月25日	郷土の自然展示室展示改装オープン
平成16年4月29日	古生代展示室展示改装オープン
平成20年4月26日	中生代展示室展示改装オープン
平成28年5月2日	新生代展示室展示改装オープン

展示室等面積

単位：㎡ 常設展示室の標本展示数

室名	当初面積	増築面積 (平成4年)	増築面積 (平成14年)	増築面積 (平成18年)	計	展示室名	展示数 (点)
特別企画展示室	0	658	0	0	658	イントロホール	9
郷土の自然展示室 (ガラパゴス含む) ^{※1}	224	465	0	0	689	古生代展示室	564
収蔵庫	116	436	0	0	552	中生代展示室/ エドモントサウルス展示室	330
学習室・研究室・ 製作室等	159	278	0	0	437	新生代展示室	624
古・中・新生代 展示室 ^{※2}	1,276	0	242	224	1,742	自然史スクエア	2
設備機械室	221	151	31	25	428	郷土の自然展示室	2,387
廊下・便所・ その他	1,591	887	0	0	2,478	その他	299
合計	3,587	2,875	273	249	6,984	計	4,215

※1 1階（ガラパゴス含む）：500㎡、2階：189㎡

※2 古生代展示室：506㎡、中生代展示室・エドモントサウルス展示室：794㎡、
新生代展示室：442㎡

平成31年3月31日現在

豊橋市民愛市憲章

わたくしたち豊橋市民は

1. 心をあわせ美しい町をつくりましょう
1. よく働き豊かな町をつくりましょう
1. 愛情をもちあたたかい町をつくりましょう
1. きまりを守り明るい町をつくりましょう
1. 教養をたかめ文化の町をつくりましょう

豊橋市自然史博物館年報

第 31 号 平成 30 年度

令和元年 6 月 30 日 発行

発行 豊橋市自然史博物館

〒 441-3147

豊橋市大岩町字大穴 1-238

電話 (0532)41-4747

FAX (0532)41-8020

<http://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/>

印刷 有限会社 伊藤印刷

〒 440-0004

豊橋市忠興三丁目 3-7

電話 (0532)63-6385

FAX (0532)39-3985